

資料編

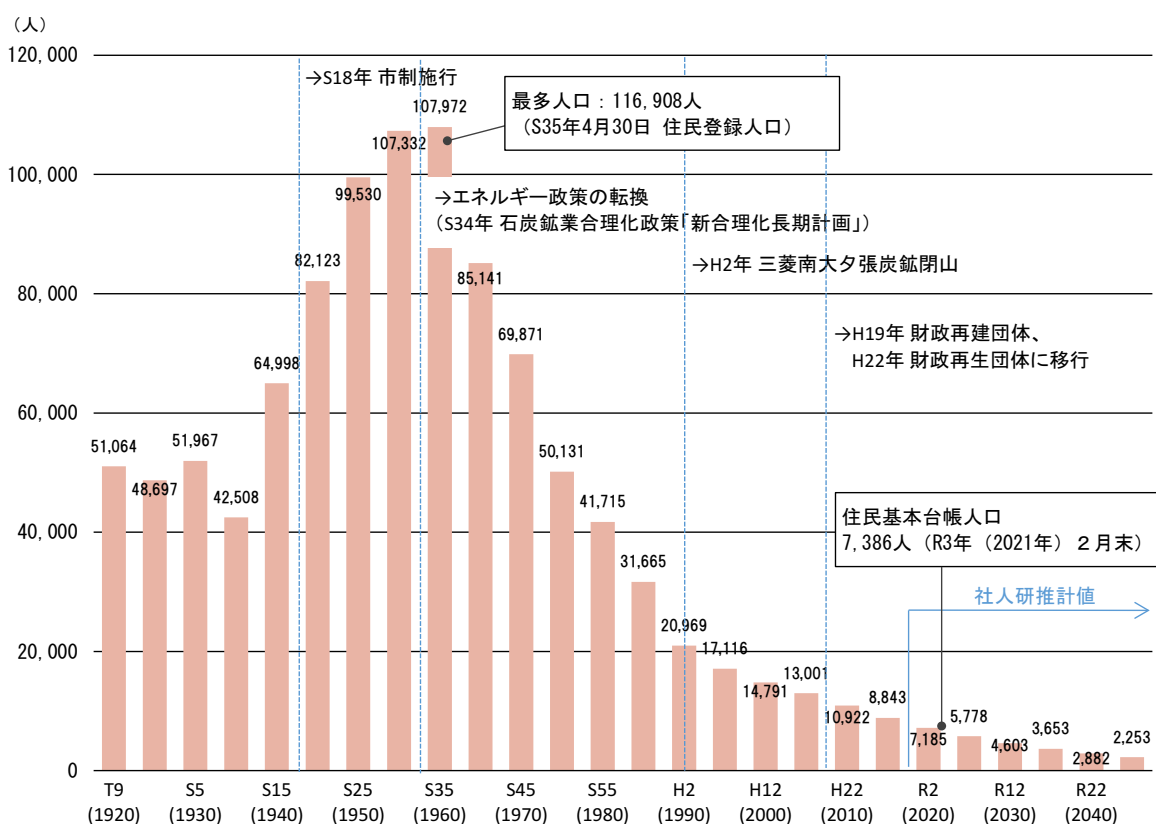
資料1 夕張市の基礎データの整理

1-1 人口

① 総人口の推移と将来推計

夕張市の人口は、昭和35年（1960年）の107,972人（住民登録人口としては、昭和35年4月30日時点の116,908人）をピークとして減少を続け、平成27年（2015年）10月1日には8,843人と急速に人口減少・少子高齢化が進んでいます。国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）によると、夕張市の人口は令和12年（2030年）に4,603人、令和27年（2045年）に2,253人となり平成27年（2015年）時点の半数以下になると推計されています。

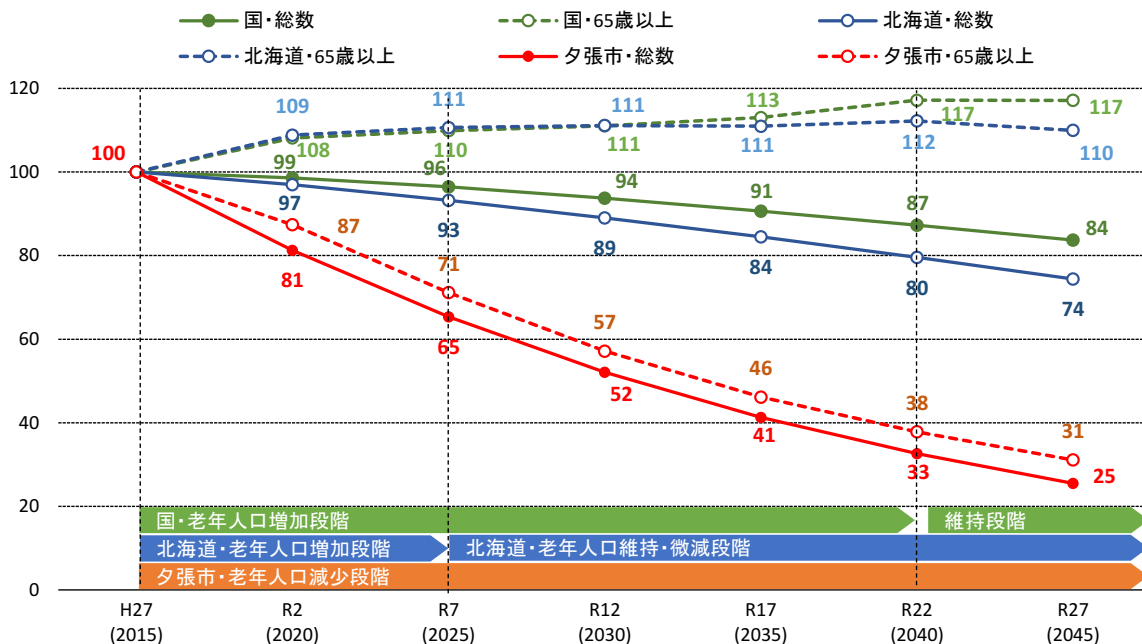
《図 総人口の推移と将来人口推計》



資料：総務省「国勢調査」（大正9年～平成27年）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（平成30年3月推計）」（令和2年～令和27年）

夕張市では、すでに高齢者人口も減少する人口減少段階に入っており、夕張市の人口は令和 27 年（2045 年）には 2,253 人となり、平成 27 年（2015 年）時点の半数以下になると推計されています。これは、社人研推計による国や北海道の人口減少度合いと比較しても、より急激なものであることがわかります。

《図 国・北海道・夕張市の人口推計比較（平成 27 年を 100 とした場合）》

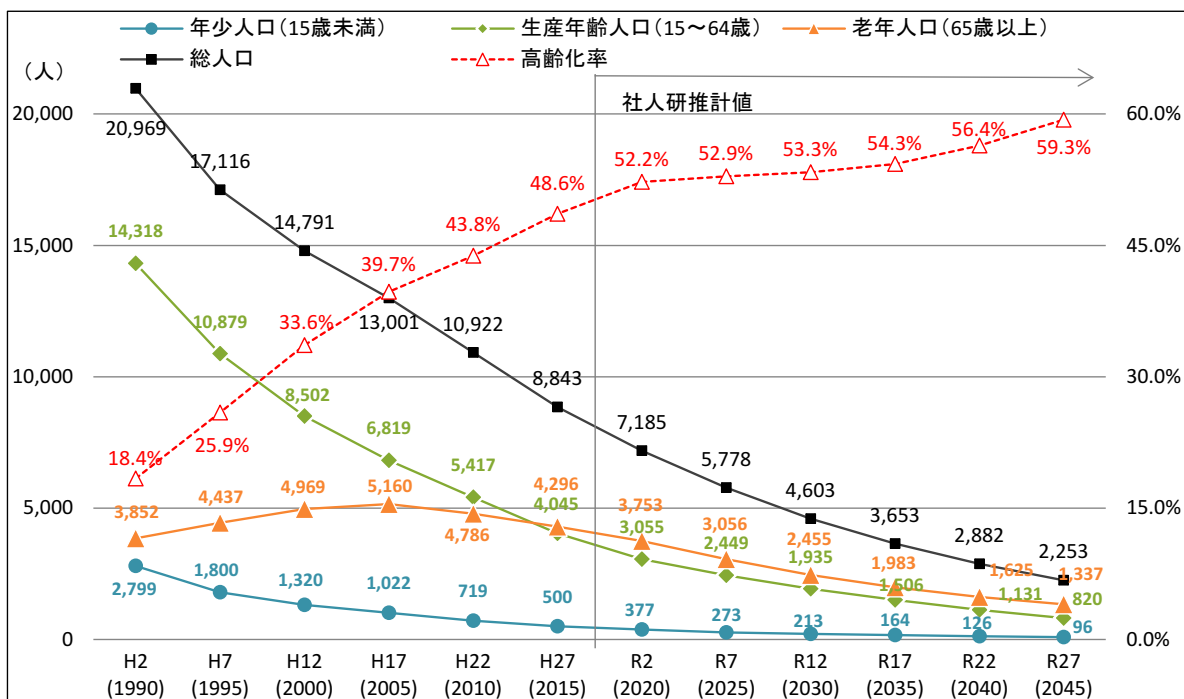


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年 1 月推計）」「日本の地域別将来人口推計（平成 30 年 3 月推計）」

②年齢別人口の推移と将来推計

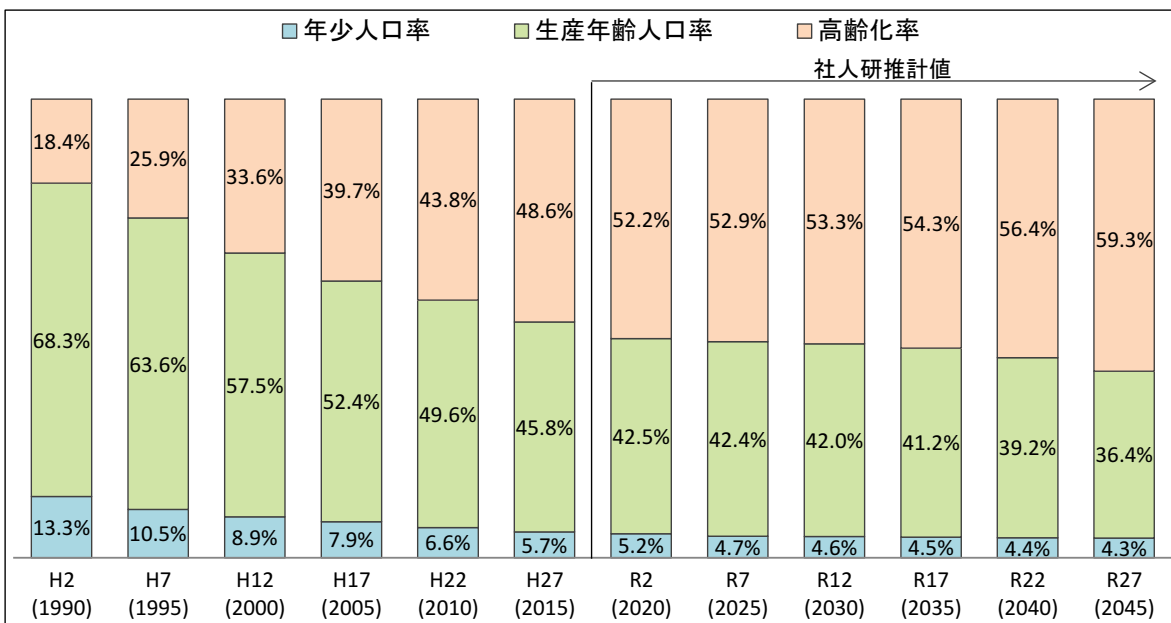
年齢3区分別の人口推移をみると、平成27年（2015年）には老年人口数、高齢化率ともに、生産年齢人口数と生産年齢人口割合を上回っており、今後もこの状況が続くと見込まれています。また、高齢化率は、平成27年（2015年）時点で48.6%であり、令和12年（2030年）には53.3%、令和27年（2045年）には約59.3%と、今後も上昇を続けると見込まれます。

《図 年齢3区分別人口・高齢化率の推移と将来推計》



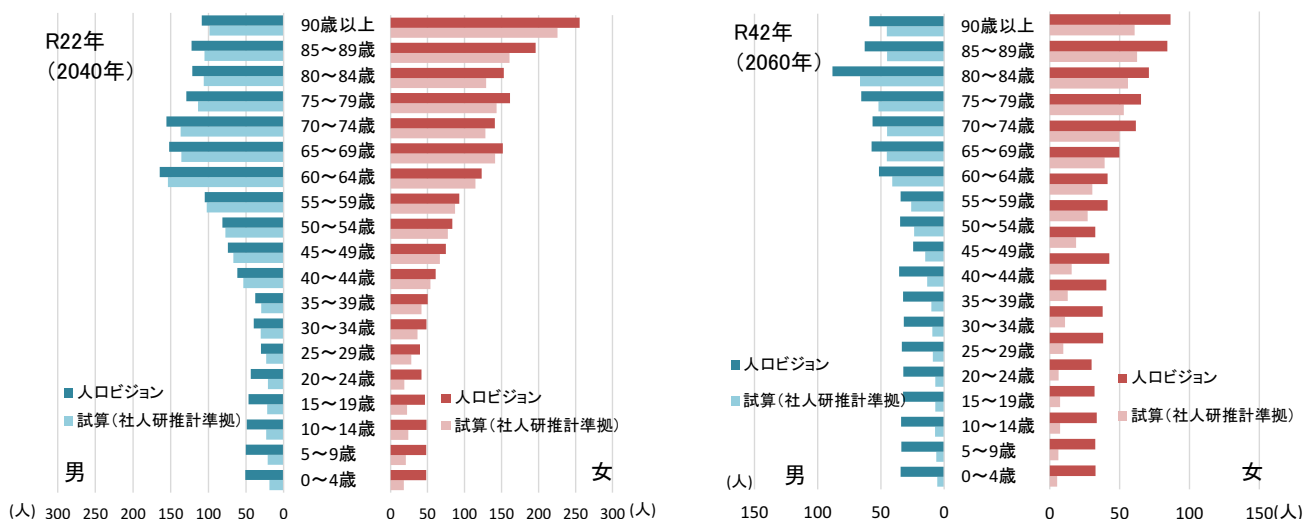
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（平成30年3月推計）」

《図 年齢3区分別人口割合の推移と推計》



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（平成30年3月推計）」

《図 年齢5歳階級別人口の将来推計》

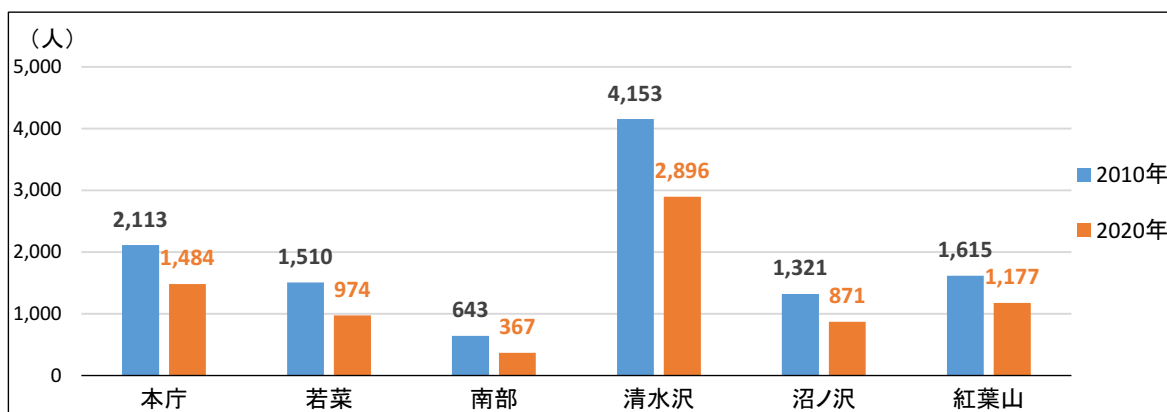


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（平成30年3月推計）」

③地区別の人口推移と将来推計

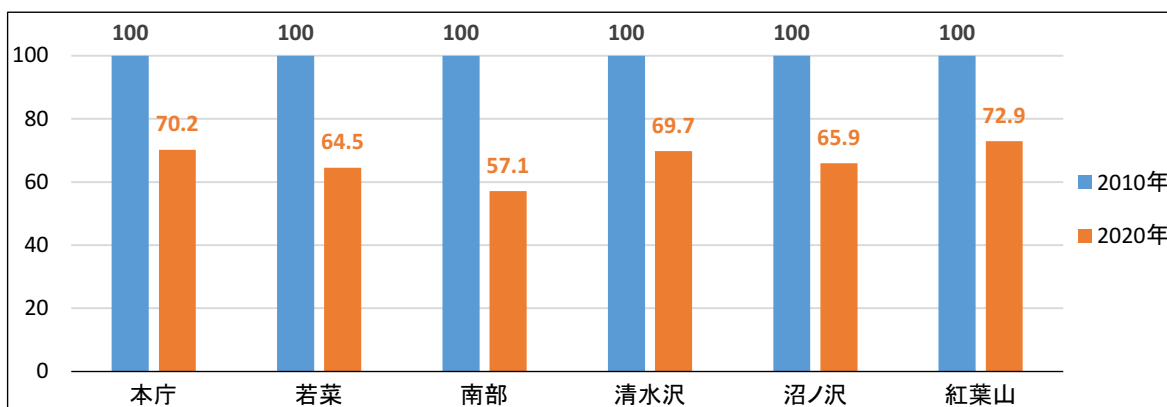
本庁、若菜、南部、清水沢、沼ノ沢、紅葉山の各地区の人口について平成22年（2010年）から令和2年（2020年）の人口の変化をみると、各地区とも10年間で人口減少が進んでおり、平成22年時点の5～8割程度の水準となっています。人口減少率は南部地区で最も大きく、紅葉山地区で最も小さくなっています。

《図 平成22年→令和2年の地区別の人口変化》（各年ともに1月1日現在）



資料：夕張市住民基本台帳

《図 平成22年→令和2年の地区別の人口変化率》（各年ともに1月1日現在）

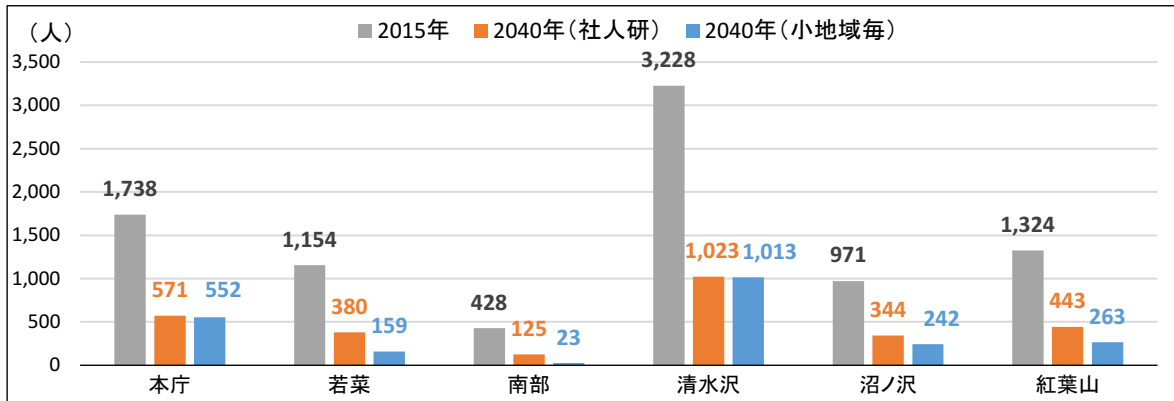


資料：夕張市住民基本台帳

夕張市の地区別に将来人口推計を行った場合、令和 22 年（2040 年）には、ほとんどの地区で人口が 1/3 程度に減少すると予測されます。また将来的にも、清水沢地区に人口が最も集積する一方、現時点で人口の少ない南部地区で人口減少が大きいと予測されます。

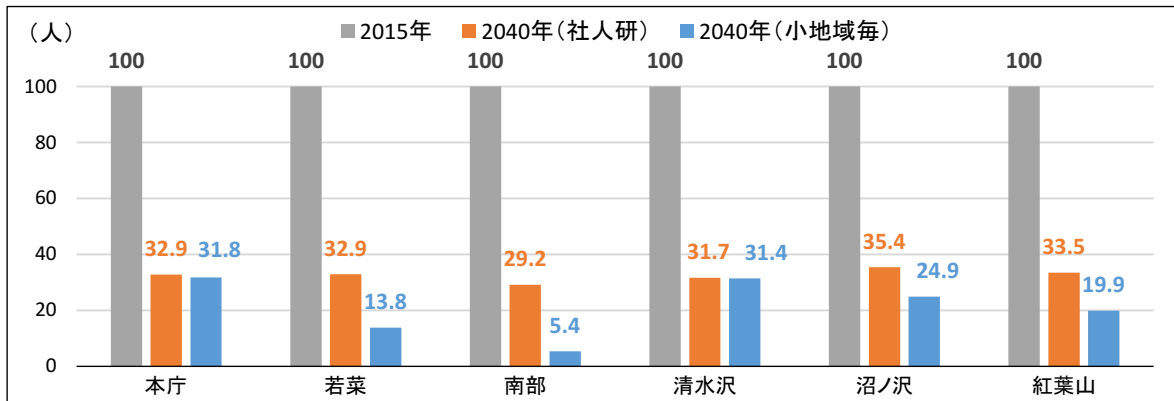
注) 地区別の将来人口の算出にあたっては、以下の2通りの方法を用いています。方法①: 社人研で使用されている夕張市全体の移動率、子ども女性比、0～4 歳性比を各小地域に適用して、将来人口推計を行った。(図中の凡例では「社人研」と表記)。方法②: 小地域(町丁・字)毎に純移動率及び子ども女性比(男・女児別)を算出し、これを用いて将来人口予測を行った。(図中の凡例では「小地域毎」と表記)

《図 令和 22 年（2040 年）の地区別の人口推計》



資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V2」を用いて算出

【図 令和 22 年（2040 年）地区別の人口推計（平成 27 年（2015 年）を 100 とした場合）】

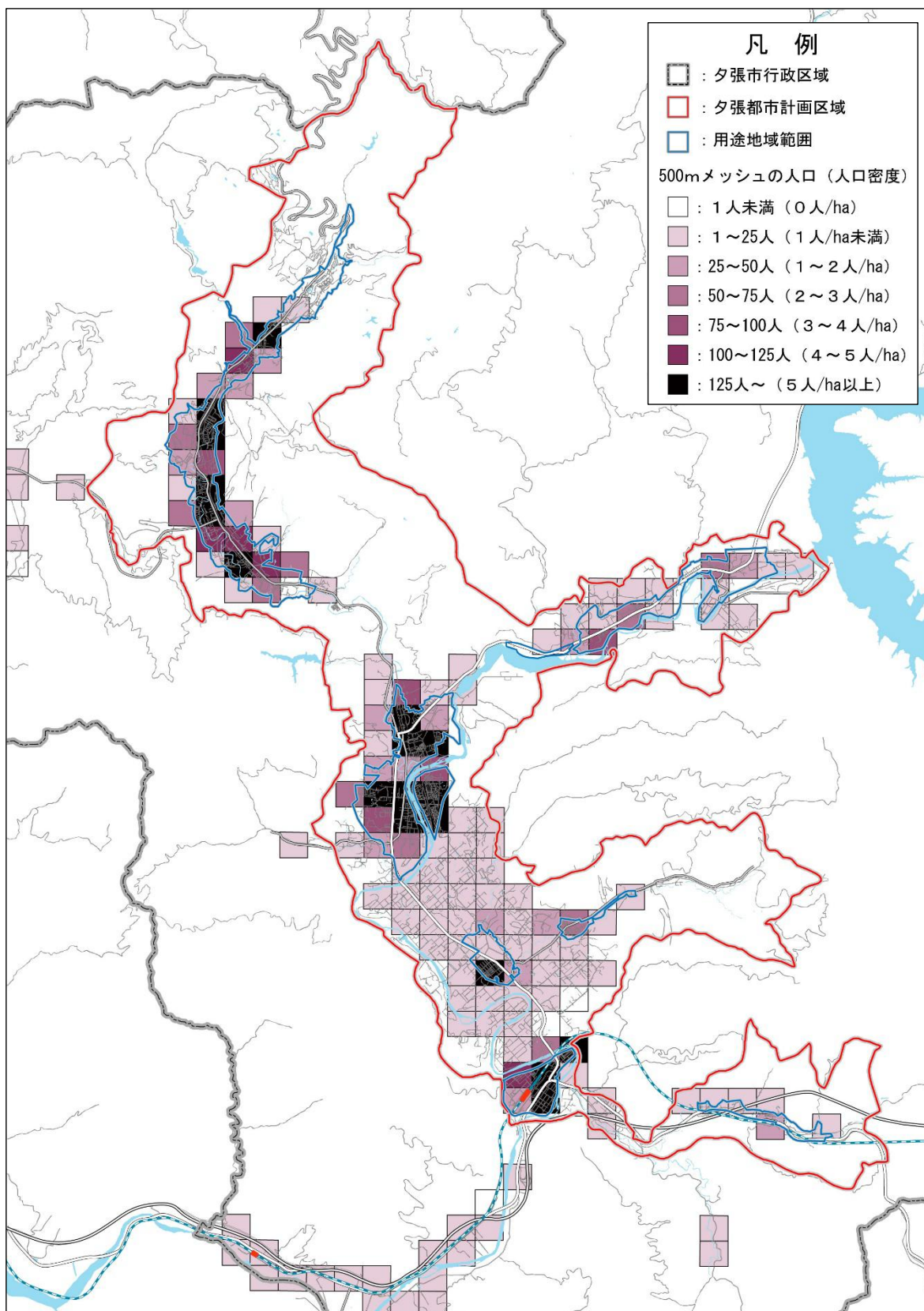


資料：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V2」を用いて算出

④500mメッシュ毎の将来人口推計

500mメッシュ毎の将来人口推計結果をみると、令和2年（2020年）時点では、本庁地区、若菜地区、清水沢地区、沼ノ沢地区、紅葉山地区での人口密度が比較的高くなっています。

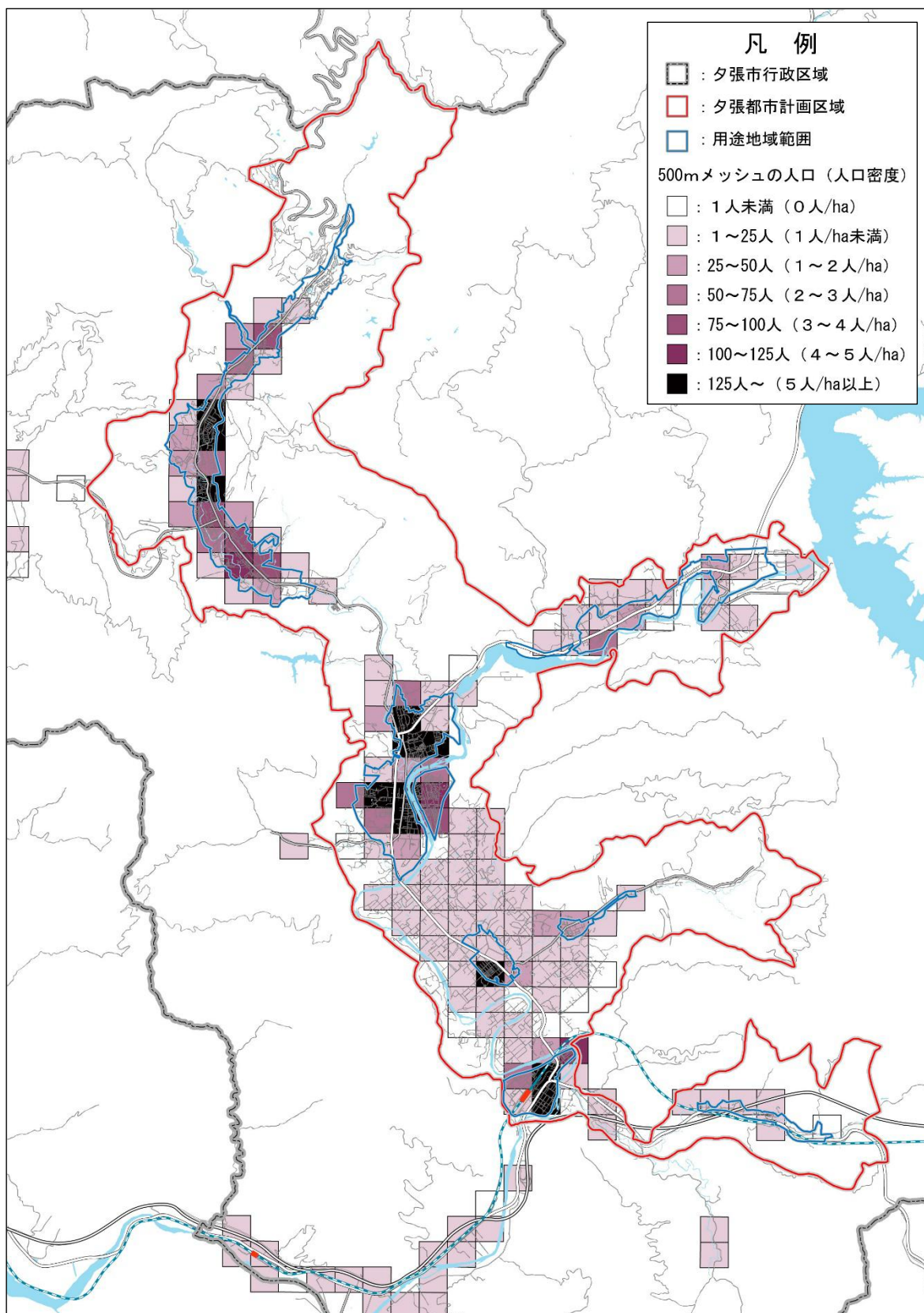
《図 令和2年（2020年）の500mメッシュ推計人口（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

令和 12 年（2030 年）時点では、全市的に人口密度が低下し、5 人/ha 以上を示すメッシュが減少する一方で、南部地区、楓・登川地区等で無居住化するメッシュも見られます。

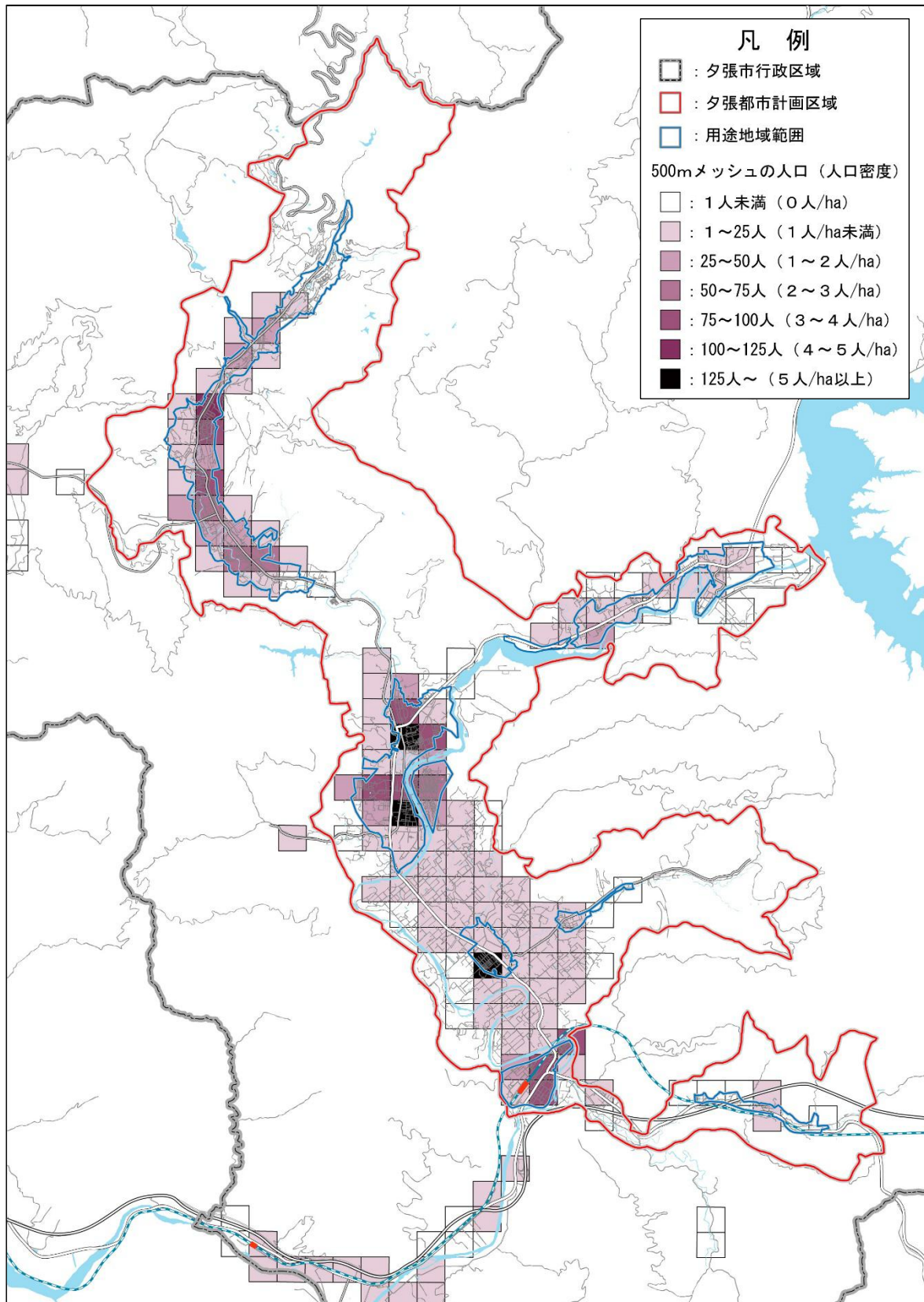
《図 令和 12 年（2030 年）の 500mメッシュ推計人口（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

令和22年（2040年）時点では、更に人口密度が低下し、5人/ha以上を示すメッシュがあるのは清水沢地区、沼ノ沢地区のみとなります。また、南部地区、楓・登川地区等で無居住化するメッシュが増加し若菜地区や真谷地区でも無居住化するメッシュがあります。

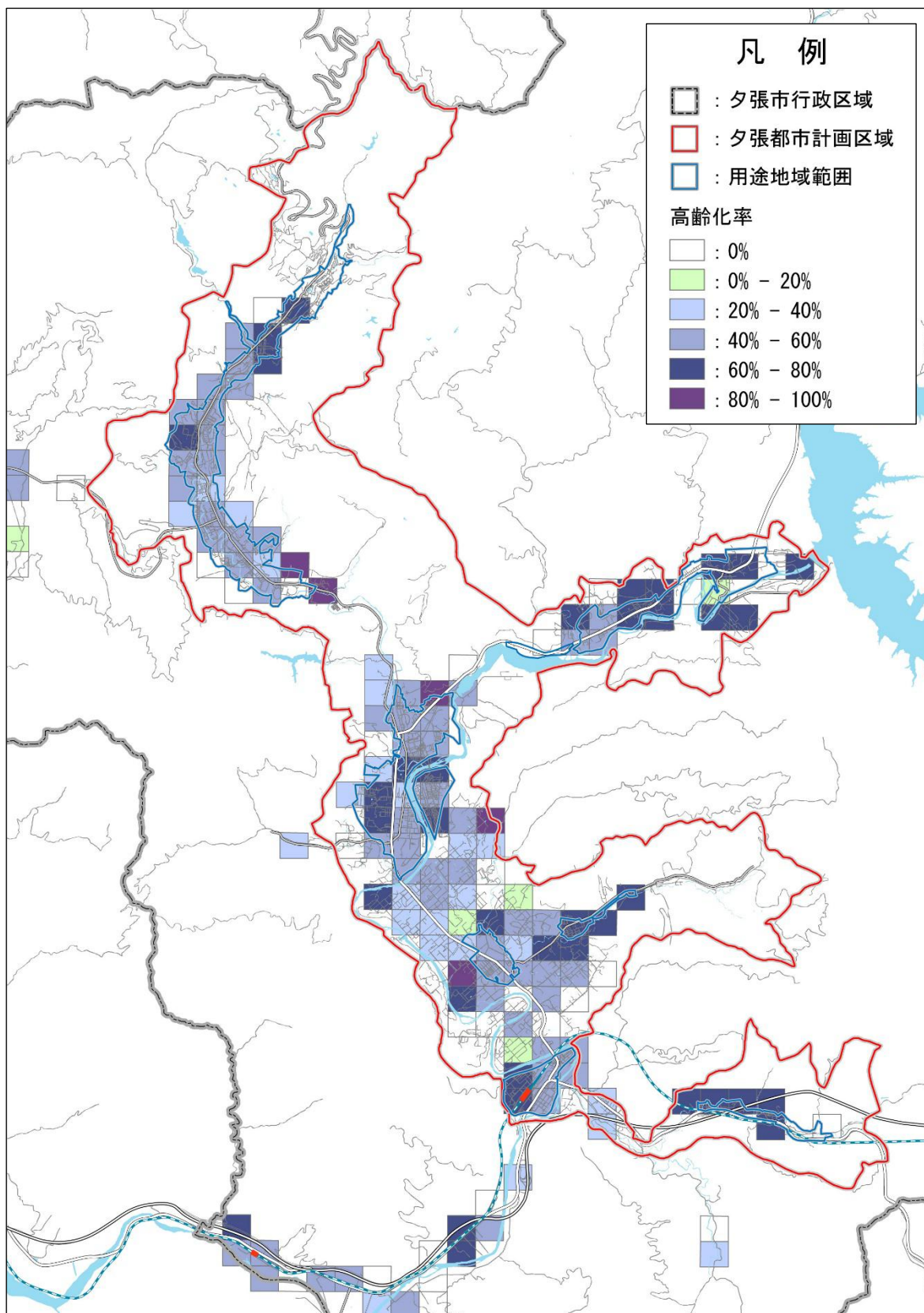
《図 令和22年（2040年）の500mメッシュ推計人口（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

500mメッシュ毎の将来の高齢化率の推計結果をみると、令和2年（2020年）時点では、南部地区、真谷地地区、楓・登川地区で、高齢化率が高いメッシュが多くなっています。

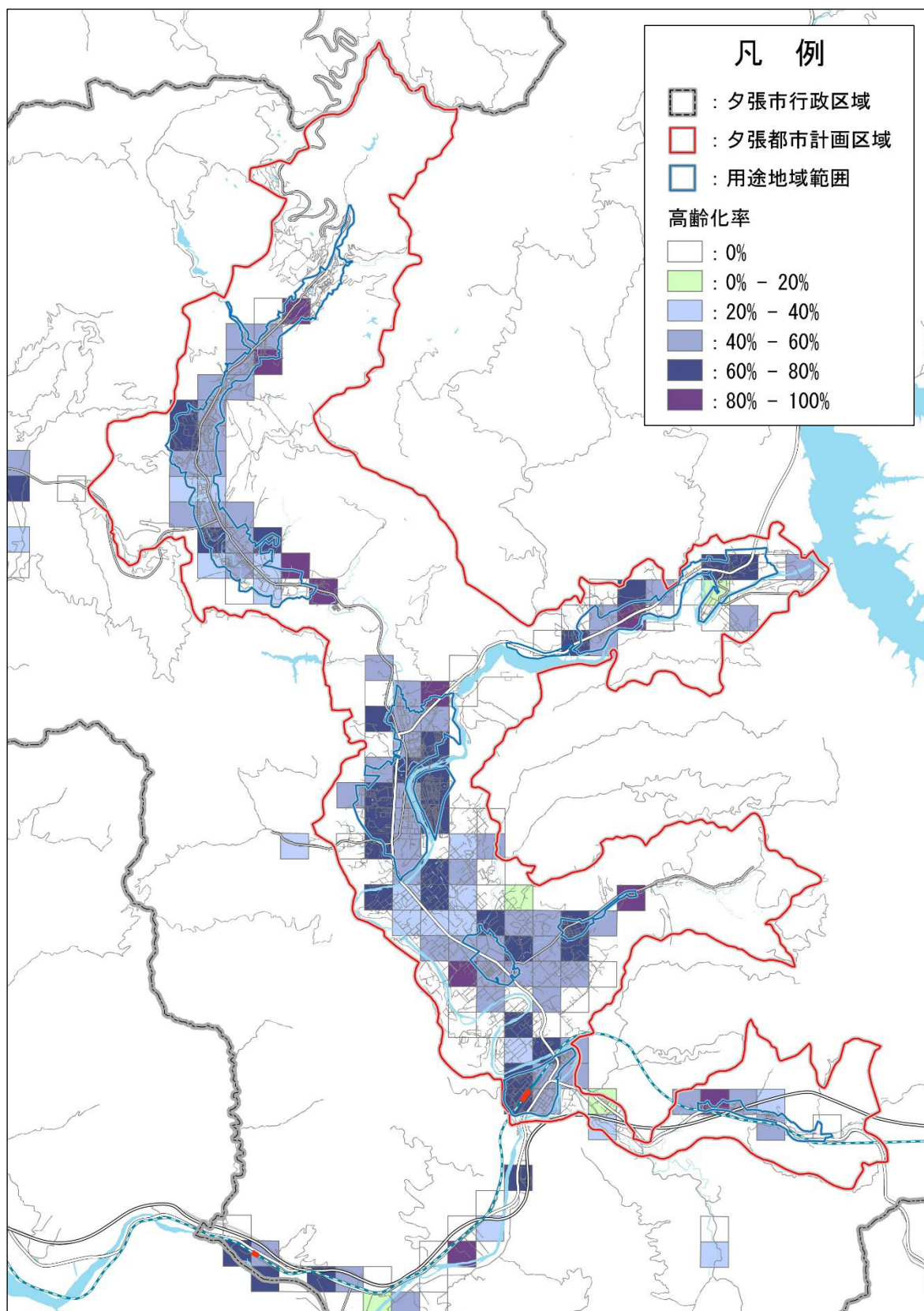
《図 令和2年（2020年）の500mメッシュ高齢化率（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

令和12年（2030年）時点では、本庁地区、若菜地区、清水沢地区等で高齢化率が高いメッシュが増加する一方で、南部地区、楓・登川地区等で高齢化率が低下するメッシュが多くなっています。

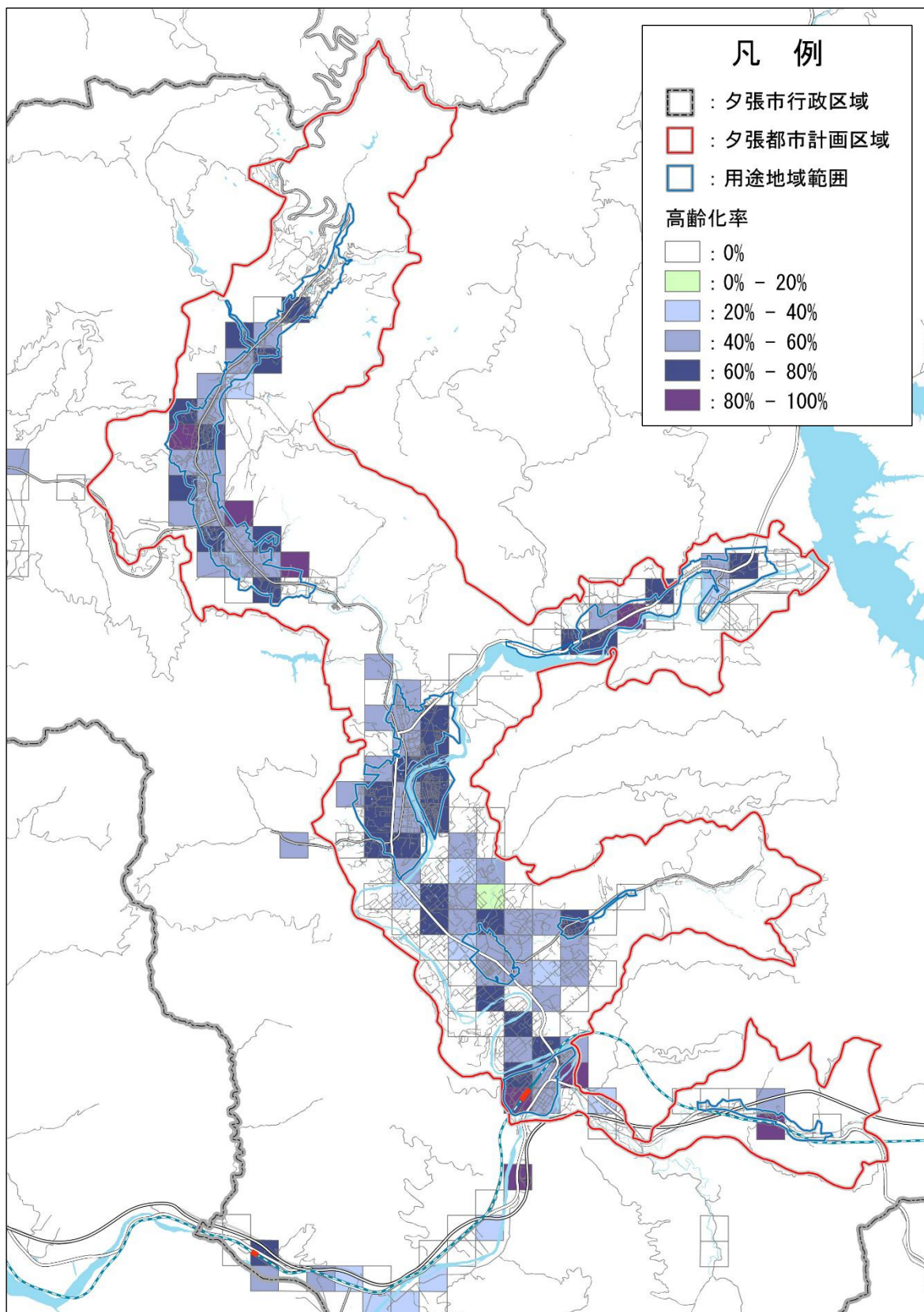
《図 令和12年（2030年）の500mメッシュ高齢化率（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

令和 22 年（2040 年）時点では、若菜地区、紅葉山地区等で高齢化率が高いメッシュが増加する一方で、清水沢地区では大きな変化は見られません。

《図 令和 22 年（2040 年）の 500mメッシュ高齢化率（全市）》



資料：国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）」を基に作成

1 - 2 土地利用

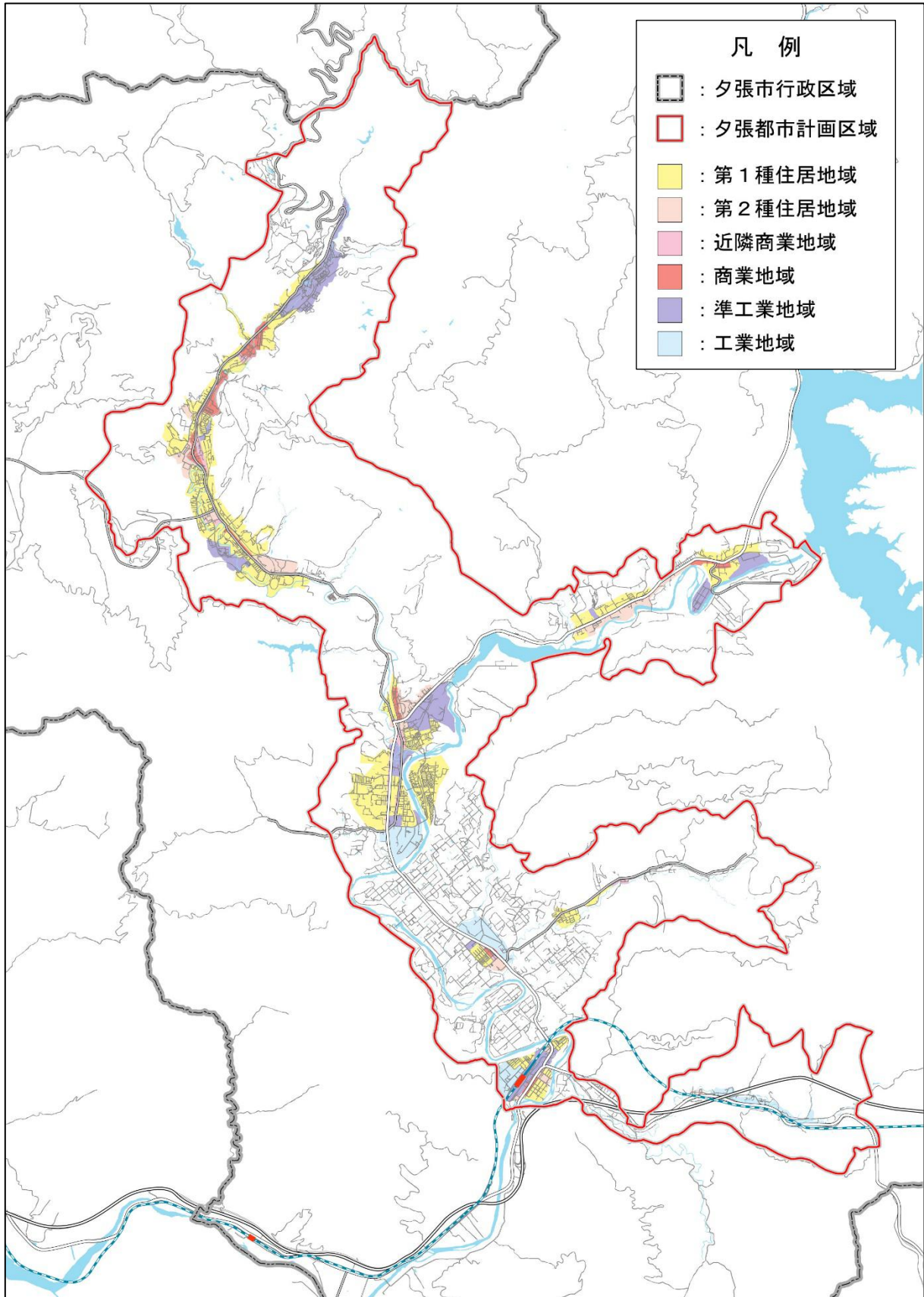
①用途地域の状況

夕張市は 8,830ha が都市計画区域に指定されており、そのうち約 1,033ha に用途地域が指定されています。12 種類ある用途地域のうち、夕張市では 6 種類の用途地域を地域の状況に応じて指定しています。

大きく住居系、商業系、工業系で分けると、住居系用途地域は全部で約 630ha、商業系用途地域は 85ha、工業系用途地域は 318ha が指定されています。

種別		面積
	第 1 種住居地域	約 509ha
	第 2 種住居地域	約 121ha
住居系	小計	約 630ha
	近隣商業地域	約 27ha
	商業地域	約 58ha
商業系	小計	約 85ha
	準工業地域	約 216ha
	工業地域	約 102ha
工業系	小計	約 318ha

《図 用途地域の指定状況》

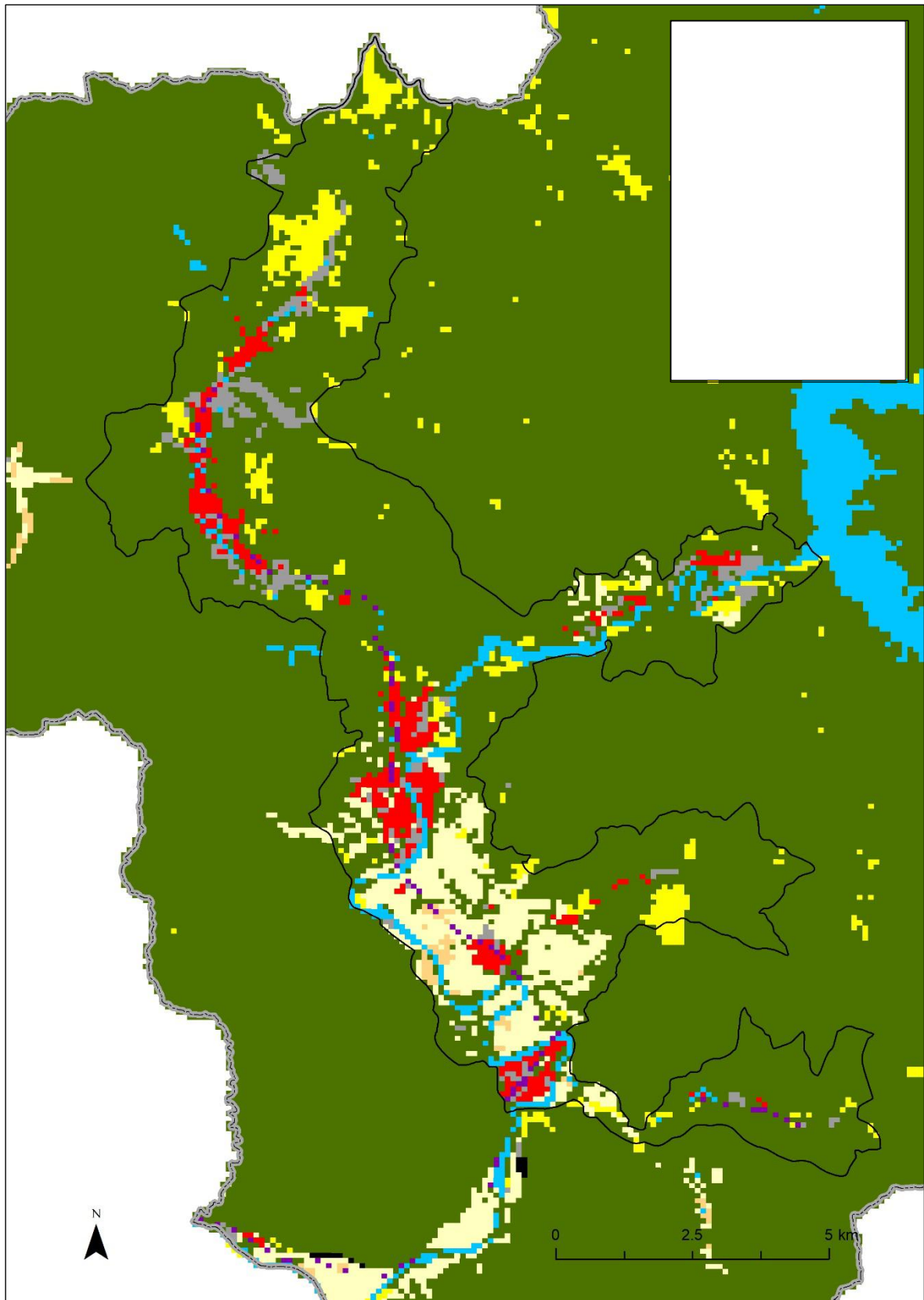


資料：国土交通省「国土数値情報」より作成

②土地利用

土地利用の状況を見ると、夕張市は河川に沿って、市街地が各地区に分散して形成されていることが分かります。また、農用地は沼ノ沢地区、滝ノ上地区、富野地区を中心に見られます。

《図 土地利用の状況 平成 28 年（2016 年）》



資料：国土交通省「国土数値情報」より作成

1 - 3 都市交通

① 路線バス、デマンド交通の状況

高速バスは、北海道中央バス(株)によ「高速ゆうぱり号」、夕張鉄道(株)による急行バス「札幌急行線」が札幌市と夕張市を結んでいます。路線バスは、夕鉄バス(株)による「新札夕線」、「夕張市内線」が運行しています。

また、路線バスが運行していない南部地区、真谷地地区ではデマンド交通を、楓・登川地区、滝ノ上地区ではタクシー乗車代金の補助を実施しています。

② 鉄道の状況

夕張市内を通る鉄道路線には、石勝線（本線）があります。石勝線については、新夕張駅が特急停車駅となっており、とかち（札幌～帯広）の全列車とおおぞら（札幌～釧路）の一部の列車が停車します。普通列車は、千歳～新夕張間を上り3本/日、下り2本/日が運行しています。

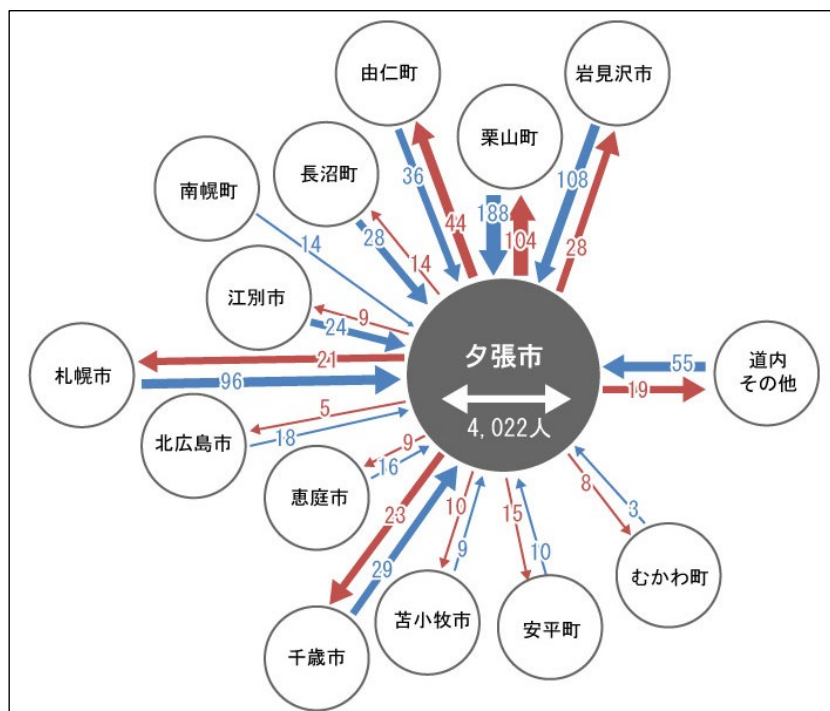
※令和3年(2021年)3月時点の状況

③通勤・通学の状況

通勤者の状況を見ると、他市町村から夕張市へ通勤する従業者は 610 人であり、内訳は栗山町が 188 人で最も多く、次いで岩見沢市、札幌市、由仁町、千歳市の順になっています。また、夕張市から他市町村へ通勤する従業者は 309 人であり、内訳は栗山町が 104 人で最も多く、次いで由仁町、岩見沢市、千歳市、札幌市の順になっています。

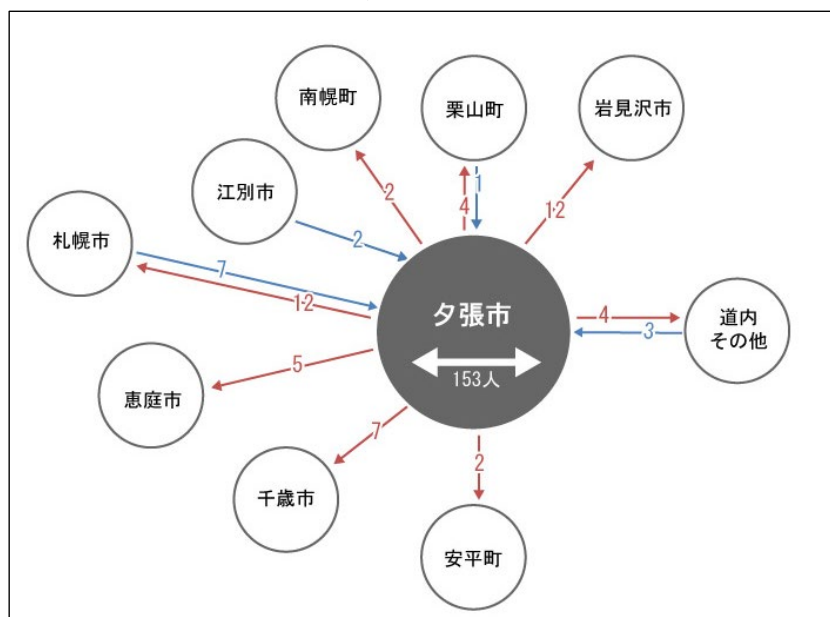
通学者の状況を見ると、他市町村から夕張市へ通学する学生は 12 人であり、札幌市からの通学が 7 人と最も多くなっています。また、夕張市から他市町村へ通学する学生は 48 人であり、内訳は札幌市、岩見沢市が 12 人と最も多くなっています。

《図 通勤者の状況》



資料：総務省「平成 27 年国勢調査」

《図 通学者の状況》



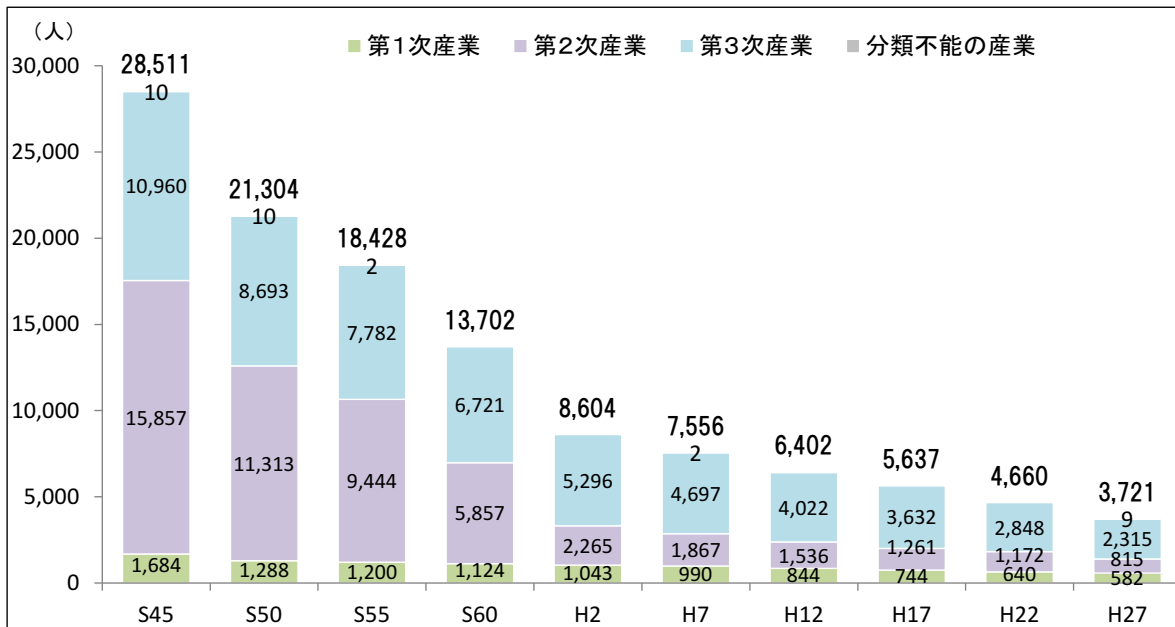
資料：総務省「平成 27 年国勢調査」

1-4 経済

①産業別就業者数

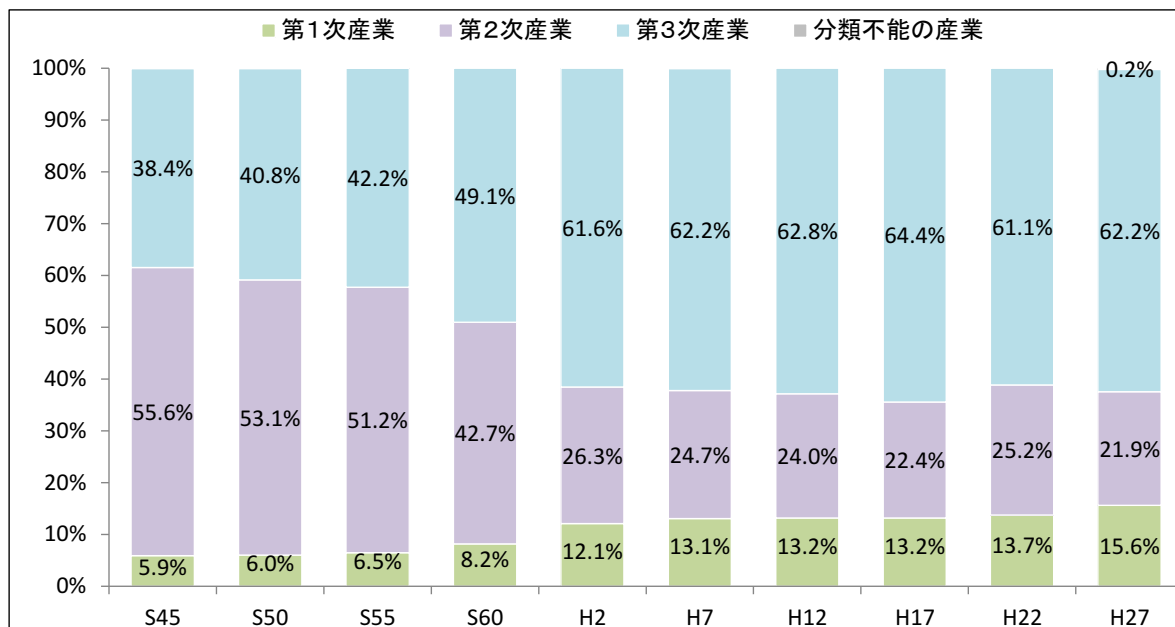
昭和45年（1970年）以降、夕張市の就業者数は全ての産業において、一貫して減少しており、中でも、第2次産業が就業者、割合共に減少が大きくなっています。近年は第1次産業の割合が増加傾向にあります。

《図 夕張市の産業別就業者数の推移》



資料：総務省「国勢調査」

《図 夕張市の産業別就業者割合の推移》

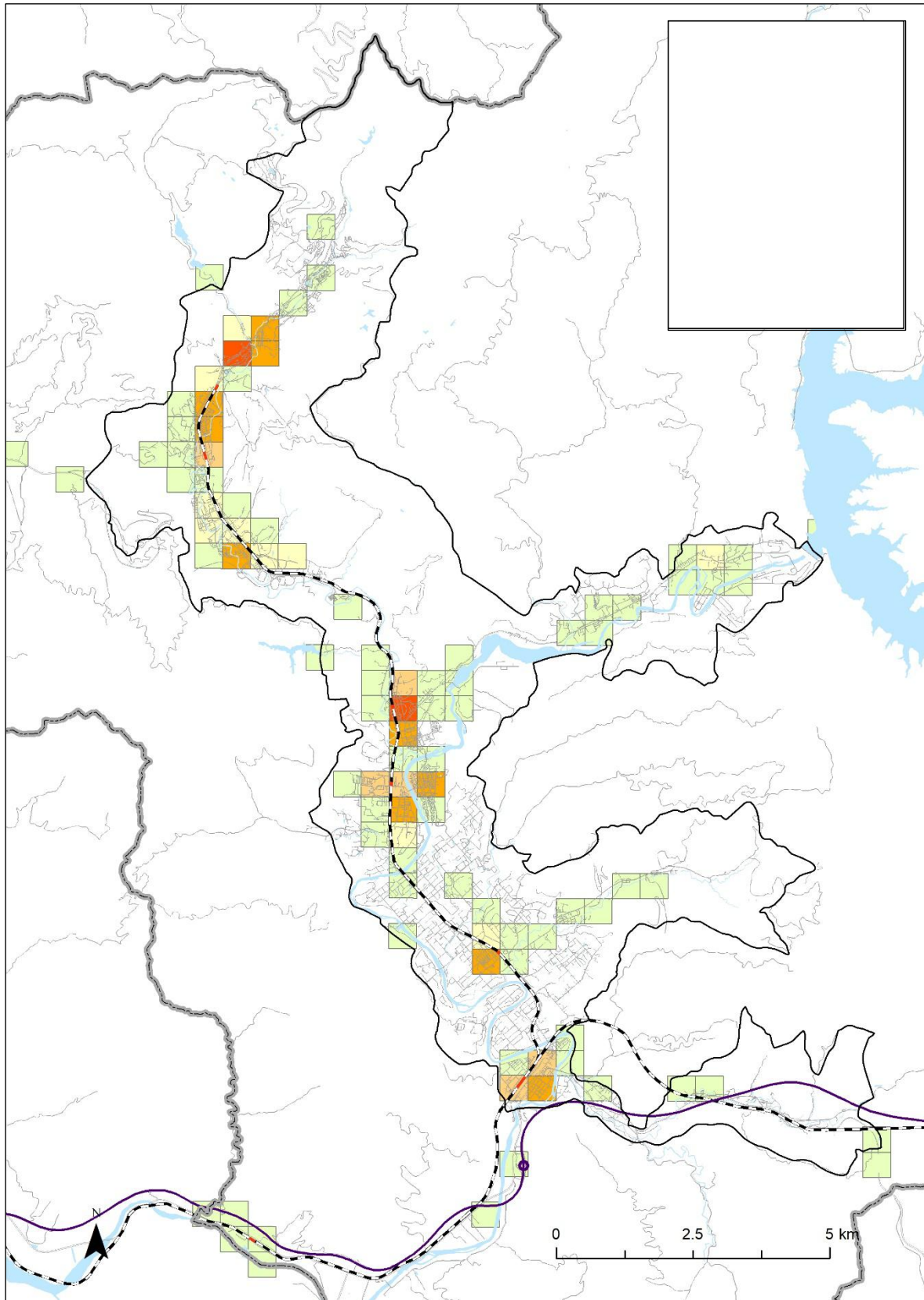


資料：総務省「国勢調査」

②事業所数の状況

500mメッシュ毎の事業所数の状況を見ると、本庁地区、清水沢地区、沼ノ沢地区、紅葉山地区で事業所が比較的集積していることがわかります。

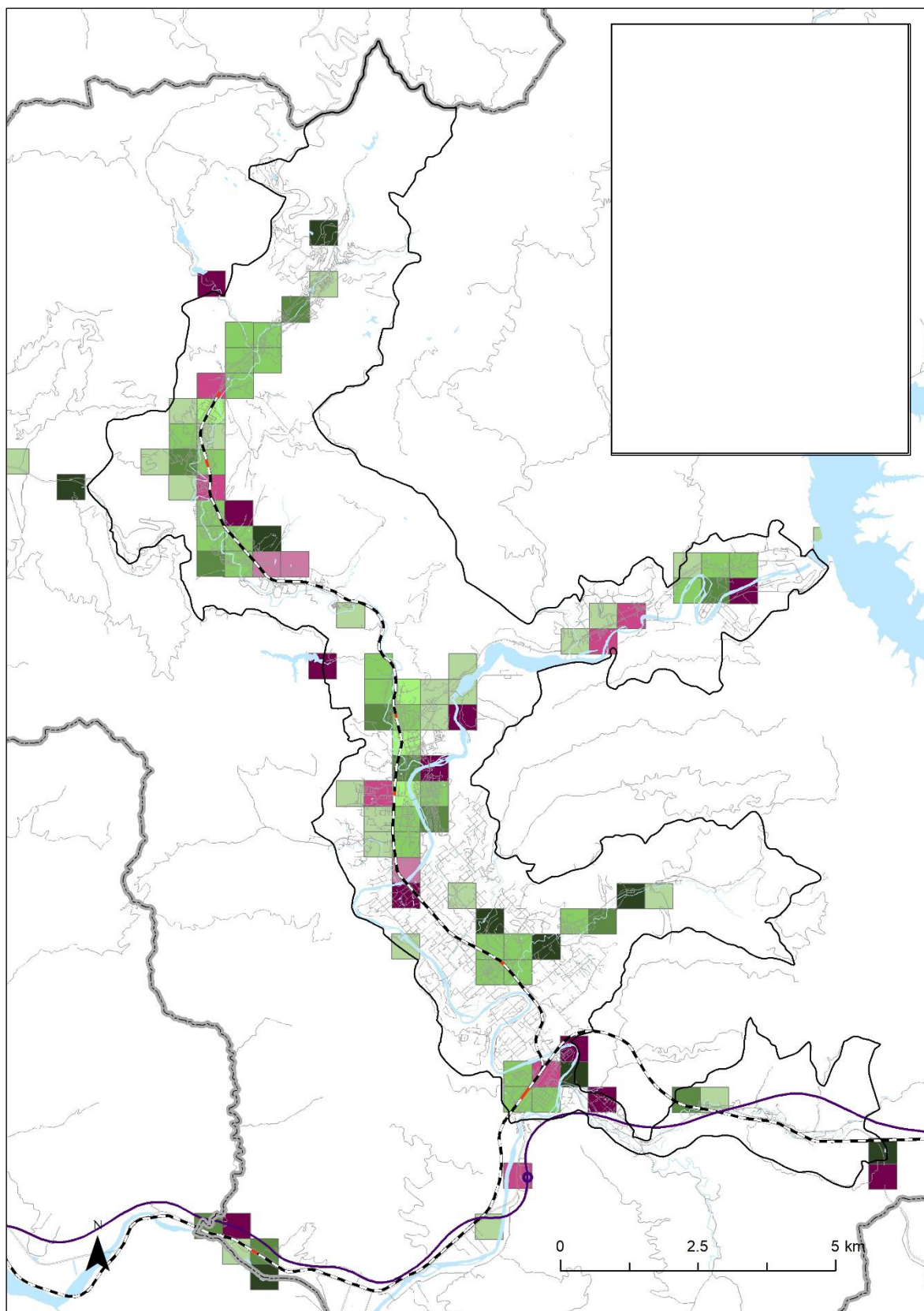
《図 500mメッシュ毎の事業所数 (平成 26 年) (2014 年)》



資料：総務省「経済センサス」(平成 26 年)

事業所数の増減の状況を見ると、大部分のメッシュで減少していますが、清水沢工業団地など一部増加しているメッシュも見られます。

《図 事業所数増減（平成21年→平成26年）》

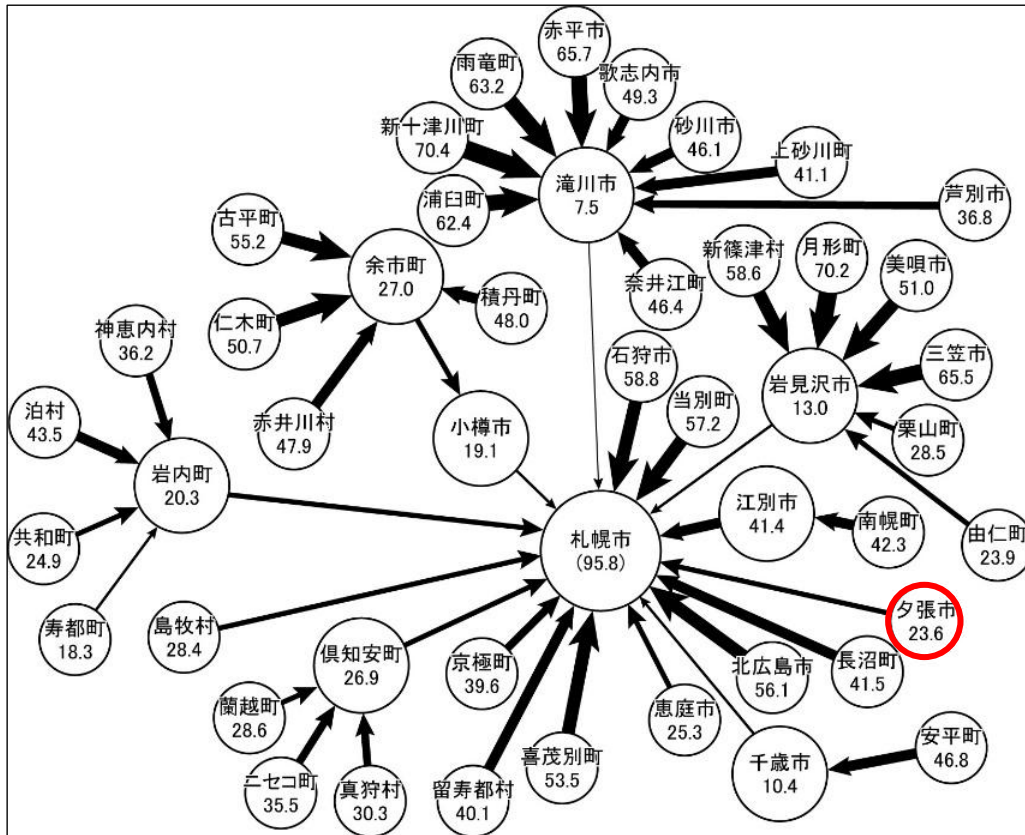


資料：総務省「経済センサス」（平成21年、平成26年）

③商業

商圈の状況を見ると、夕張市は札幌広域商圈に含まれており、札幌市への買い回り品の流出率が 23.6%となっています。

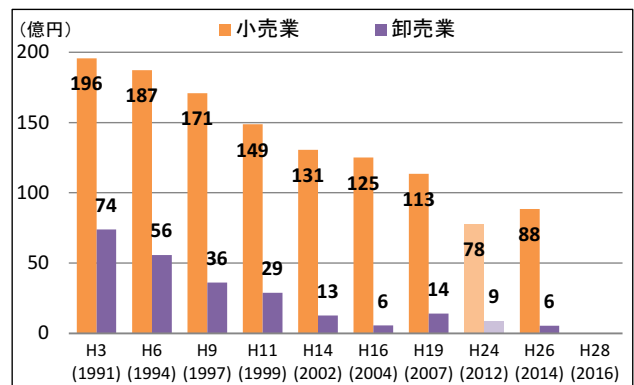
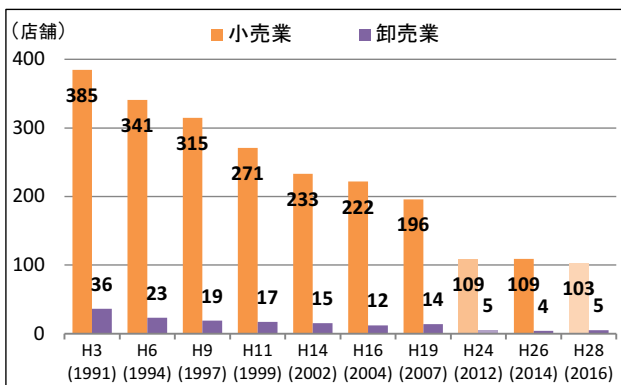
《図 札幌広域商圈の買い回り品の流出率》



資料：北海道「北海道広域商圈動向調査」(平成 21 年)

卸売業・小売業の事業所数・年間商品販売額は減少傾向にあり、今後更なる人口減少が進むことで商圈が縮小し、スーパー・コンビニ等の生活利便施設の撤退等が生じる可能性があります。

《図 卸売業・小売業の事業所数・年間商品販売額の推移》
 <<事業所数>> <<年間商品販売額>>



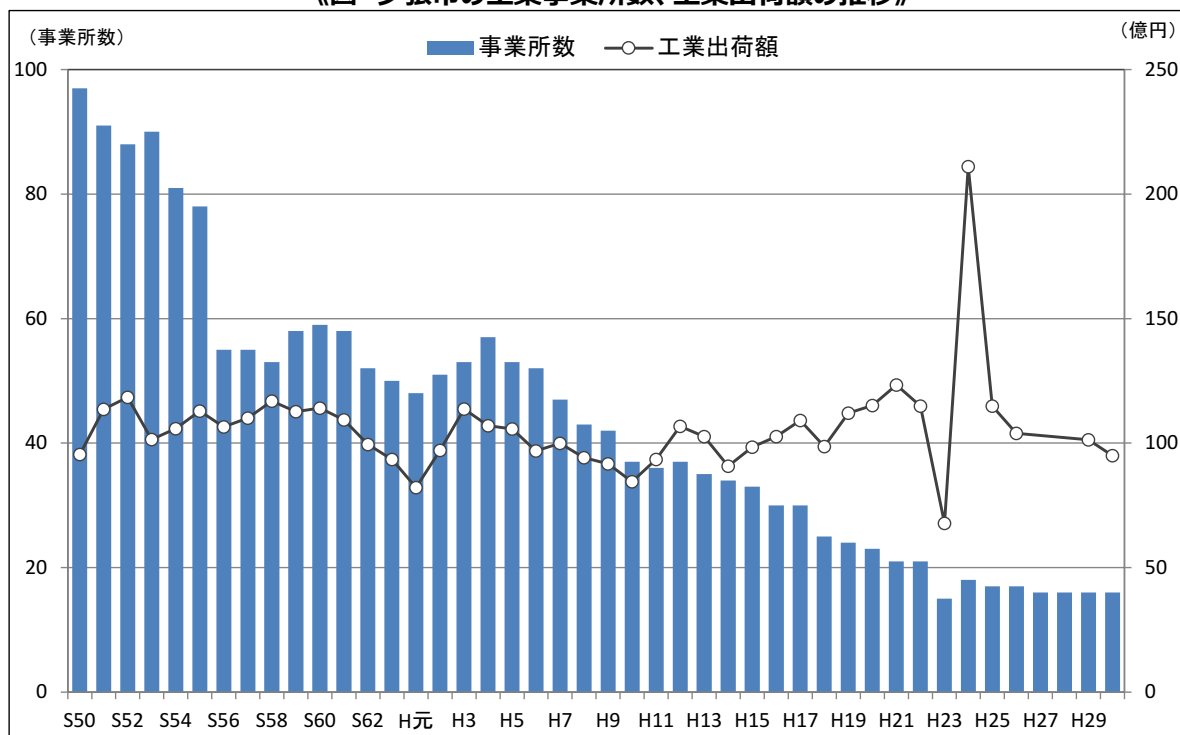
資料：平成 3 年～19 年、26 年は総務省・経済産業省「商業統計調査」、平成 24 年、平成 28 年は総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

※経済センサスは参考値、平成 28 年年間商品販売額は秘匿処理のため非公表

④工業

工業統計によると、夕張市内の事業所数は減少傾向にありましたが、近年は横ばい傾向で推移しています。事業所数が減少する一方で工業出荷額は概ね 100 億円前後で横ばい傾向となっています。

《図 夕張市の工業事業所数、工業出荷額の推移》

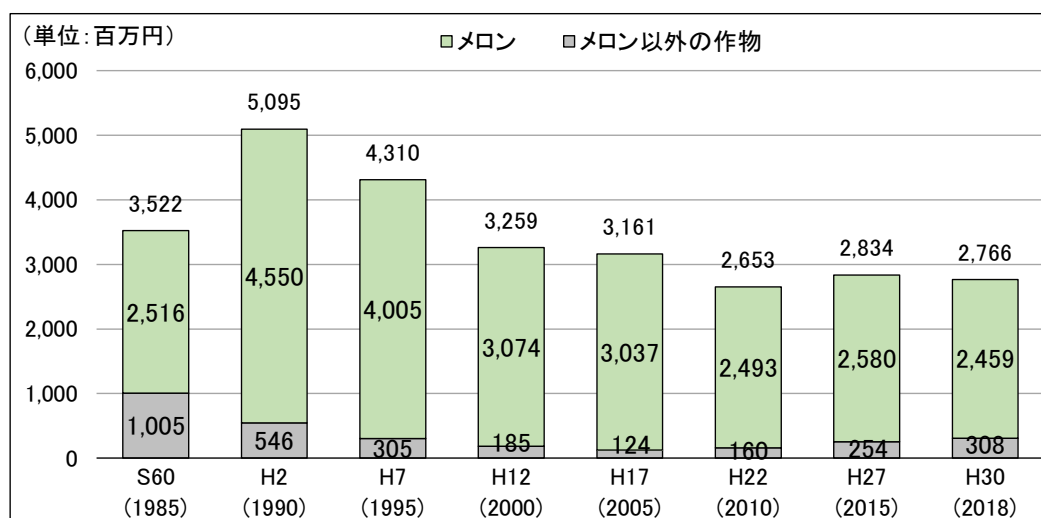


資料：経済産業省「工業統計調査」（平成 23 年、平成 27 年は経済センサスの結果をもって工業統計としている）
 ※平成 27 年、平成 28 年の工業出荷額は秘匿処理のため非公表

⑤農業

農業生産額の内訳をみると、メロンが大部分を占めている状況にあります。推移をみると、平成 2 年（1990 年）のピークから平成 22 年（2010 年）までは減少傾向にあり、その後は横ばい傾向にあります。

《図 夕張市の農業生産額の推移》



資料：夕張市調

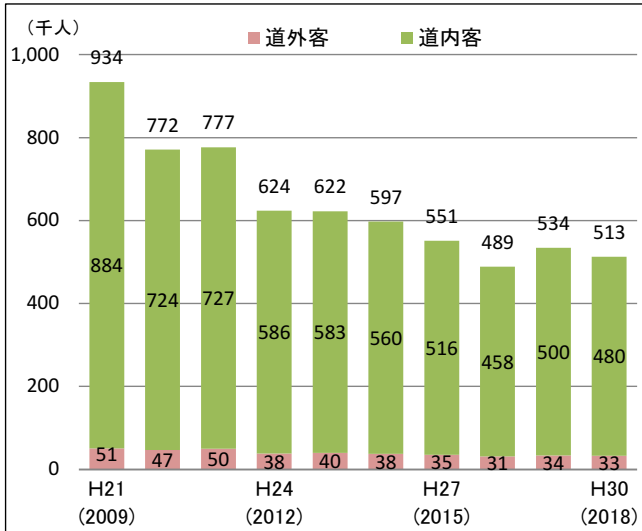
⑥ 観光

直近 10 年間の夕張市の観光入込客数は減少傾向にあります。道内・道外客別にみると、道内客がほとんどを占めており、道内・道外客共に減少傾向にあります。また、日帰・宿泊客別にみると、日帰客がほとんどを占めており、減少傾向にある一方、宿泊客は横ばい傾向にあります。

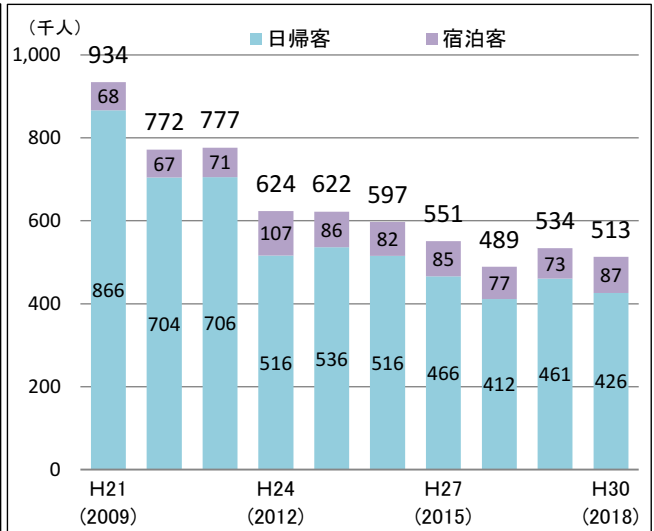
また、平成 28 年度（2016 年度）～平成 30 年度（2018 年度）の月別観光入込客数をみると、5 月～8 月、10 月、1 月～3 月の観光入込客数が多くなっています。

《図 夕張市の観光入込客数の推移》

《道外・道内客別》

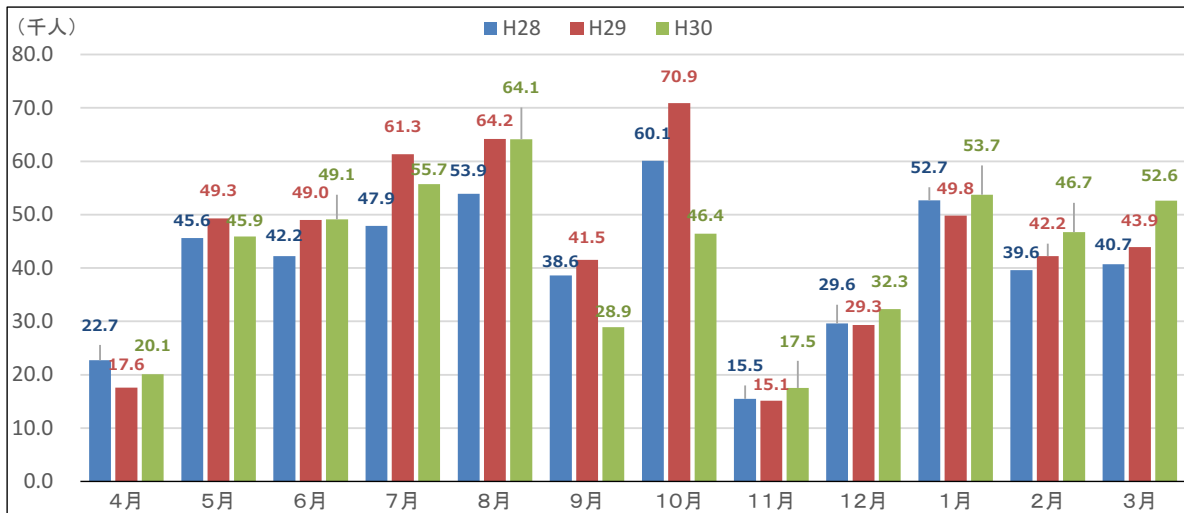


《日帰・宿泊客別》



資料：北海道「北海道観光入込客数調査」

《図 夕張市の観光入込客数の推移（月別）》



資料：北海道「北海道観光入込客数調査」

1-5 都市機能

都市機能施設として、下の表に示す官公庁施設、教育関連施設（小学校、中学校、高等学校、学童クラブ、幼稚園・保育園）、文化・スポーツ施設、集会施設・公衆浴場、医療福祉施設（病院、診療所、歯科診療所、福祉施設）、商業施設、金融機関、郵便局、公園施設について、立地状況を整理します。

《表 夕張市の都市機能施設の一覧 1/3》

分類	名称	地区	住所
国・道の機関	北海道公共職業安定所夕張出張所	本町・若菜地区	本町5-5
	札幌家庭裁判所夕張出張所	本町・若菜地区	末広1-92-16
	札幌地方裁判所夕張簡易裁判所	本町・若菜地区	末広1-92-16
役場	夕張市役所	本町・若菜地区	本町4-2
	南支所	清水沢地区	南清水沢4丁目48番地12
消防	夕張市消防本部	清水沢地区	清水沢宮前町20
	夕張市消防署	清水沢地区	清水沢宮前町20
	若鹿分団詰所	本町・若菜地区	若菜8-18
	富野分団詰所	本町・若菜地区	富野72
	南部分団詰所	南部地区	南部東町71
	沼ノ沢分団詰所	沼ノ沢地区	沼ノ沢125
	滝の上分団詰所	紅葉山地区	滝ノ上10-1
	紅葉山分団詰所	紅葉山地区	紅葉山117
集会施設・公衆浴場	ゆうぱり文化スポーツセンター	本町・若菜地区	若菜2番地
	農業研修センター	沼ノ沢地区	沼ノ沢827番地4
	千代田コミュニティセンター	本町・若菜地区	千代田3番地
	南部コミュニティセンター	南部地区	南部東町76番地
	ゆうぱりはまなす会館	本町・若菜地区	平和1番地44
	鹿の谷生活館	本庁・若菜地区	鹿の谷3丁目3番地の3
	滝ノ上生活館	本庁・若菜地区	滝ノ上
	紅葉山会館	紅葉山地区	紅葉山
	富野生活館	本庁・若菜地区	富野63番地
	清陵町さわやかホール	清水沢地区	清水沢清陵町
	南清水沢生活館	清水沢地区	南清水沢4丁目13番地の6
	清水沢生活館	清水沢地区	清水沢3丁目144
	清栄生活館	清水沢地区	清水沢清栄町
	宮前町浴場	清水沢地区	清水沢宮前町16番地の10
	真谷地浴場	沼ノ沢地区	真谷地431
	清陵浴場（リフレッシュセンター清陵）	清水沢地区	清水沢清陵町62
	ゆうぱり共生型ファーム	本庁・若菜地区	本町5丁目54
	真谷地6区集会所	沼ノ沢地区	真谷地62-6
文化・スポーツ施設	複合拠点施設りすた	清水沢地区	南清水沢4丁目48番地12
	生活歴史館	本町・若菜地区	社光11
	夕張市石炭博物館	本町・若菜地区	高松7-1
	夕張市民健康会館	清水沢地区	清水沢清栄町115
	夕張市平和運動公園	本町・若菜地区	平和
	清水沢プール	清水沢地区	清水沢清陵町14
	鹿の谷球場	本町・若菜地区	鹿の谷山手町31
	緑ヶ丘球場	本町・若菜地区	鹿の谷山手町42
	ゆうぱりテニスコート	本町・若菜地区	若菜2
	はまなす国体記念相撲場	本町・若菜地区	若菜2
	紅葉山パークゴルフ場	紅葉山地区	紅葉山231番地
	マウントレースイスキー場	本町・若菜地区	末広2-4
	交流の里きずな	本庁・若菜地区	若菜5番地1
	ゆうぱり自然体験塾	南部地区	南部岳見町22番地

《表 夕張市の都市機能施設の一覧 2/3》

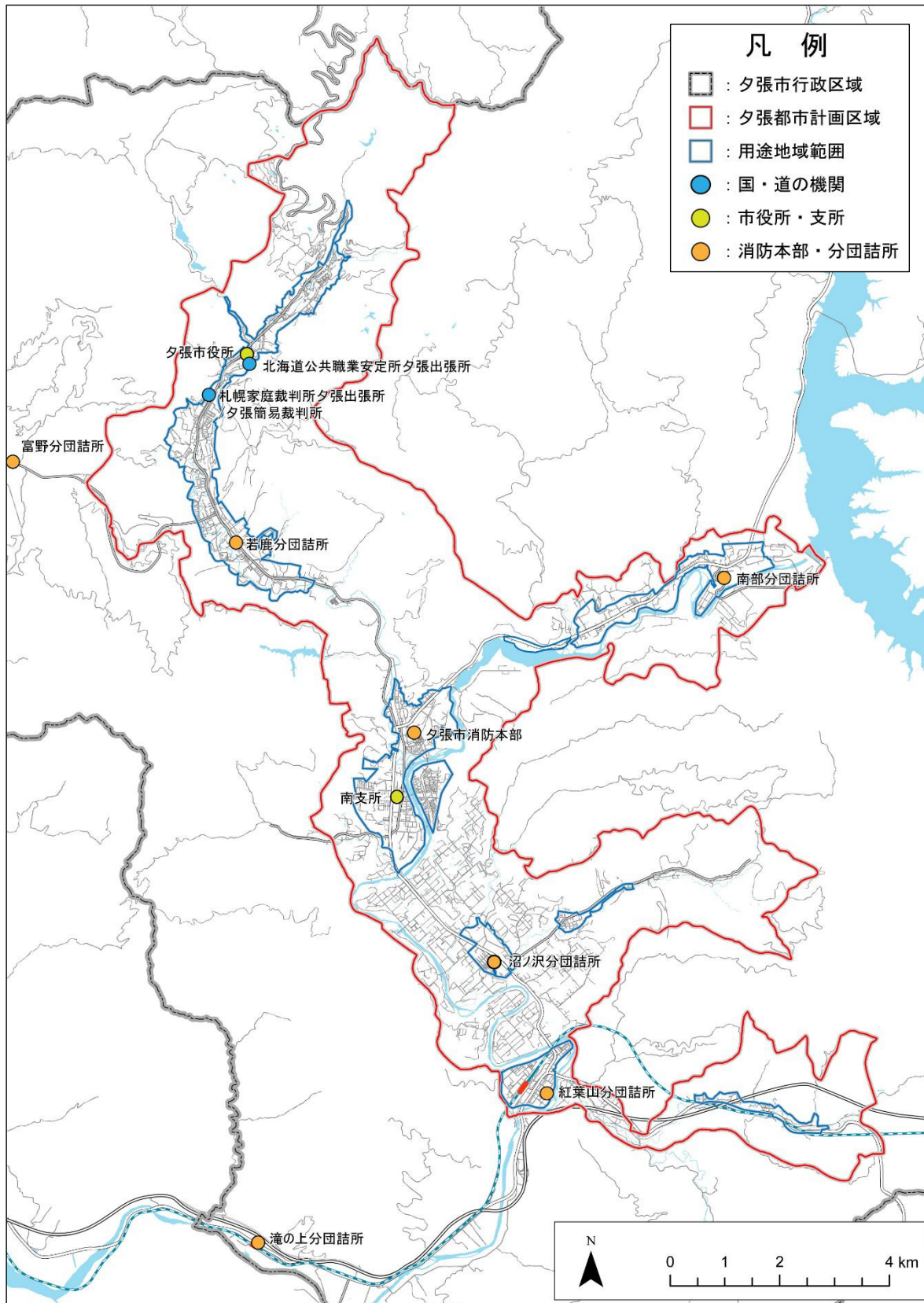
分類	名称	地区	住所
小学校	ゆうばり小学校	清水沢地区	清水沢清陵町14
中学校	夕張中学校	清水沢地区	南清水沢3-63
高等学校	夕張高等学校	清水沢地区	南清水沢3-49
	夕張高等養護学校	本町・若菜地区	千代田7-1
学童クラブ	若菜すくすく学童クラブ	本町・若菜地区	若菜3-1
	清水沢なかよし学童クラブ	清水沢地区	清水沢清陵町14
認定こども園	ゆうばり丘の上こども園	清水沢地区	清水沢3-122
保育所	新夕張保育園	本町・若菜地区	末広2丁目4-1
	沼ノ沢保育園	沼ノ沢地区	沼ノ沢827番地の4
	こじか保育所	本町・若菜地区	鹿の谷山手町54番地
診療所	夕張市立診療所	本町・若菜地区	社光20
	南清水沢診療所	清水沢地区	南清水沢4-8-6
	中條医院	紅葉山地区	紅葉山526-40
	築詰医院	清水沢地区	清水沢3-65
歯科診療所	木村歯科	本町・若菜地区	本町3-63
	清水沢歯科医院	清水沢地区	清水沢3-3
	ひうら歯科クリニック	本庁・若菜地区	若菜11-29
	やなづめファミリー歯科	清水沢地区	南清水沢3丁目27番地1
福祉施設（通所系）	デイサービスセンターすずらん	清水沢地区	南清水沢1丁目124番地
	デイサービスセンターレインボーヒルズ	本庁・若菜地区	日吉16番地4
	ゆうばりデイサービスセンターふるさと	紅葉山地区	紅葉山231番地70
	フィットネス型デイサービスハッピーロード	本庁・若菜地区	若菜2番地26
	介護老人保健施設夕張	本庁・若菜地区	社光20番地
福祉施設（居住系）	グループホーム 夕張サザンクロス	清水沢地区	清水沢1丁目60番地
	グループホーム 夕張汽笛が聞こえる	本庁・若菜地区	本町4丁目45番地
	グループホーム まどか	清水沢地区	清水沢宮前町22番地
	グループホーム 紅葉の里	紅葉山地区	紅葉山235番地11
	グループホーム わかな	本庁・若菜地区	若菜8番地25
	ケアハウスレインボーヒルズ	本庁・若菜地区	日吉16番4
	養護老人ホーム夕張紅葉園	紅葉山地区	紅葉山178番地
シルバー共同住宅 陽光	清水沢地区	南清水沢1丁目124-5	
福祉施設（施設系）	介護老人保健施設 夕張	本庁・若菜地区	社光20番地
	介護老人保健施設 虹ヶ丘	本庁・若菜地区	日吉14番地6
	特別養護老人ホーム清光園	清水沢地区	南清水沢1丁目54
福祉施設（障害者福祉）	ニュー北海道博愛舎	紅葉山地区	紅葉山230番地
	北海道博愛舎	紅葉山地区	紅葉山230番地
	障がい者支援施設 しみずさわ	清水沢地区	南清水沢4丁目63番地
	ばれつとファーム	南部地区	南部夕南町18
	あ・りさーだ	沼ノ沢地区	沼の沢35番地
福祉施設（その他）	夕張市地域包括支援センター	本庁・若菜地区	本町4丁目2番地
	老人福祉会館	本庁・若菜地区	若菜3番地1
金融（銀行）	北洋銀行夕張支店	本庁・若菜地区	本町4-2
	北海道信用金庫夕張中央支店	清水沢地区	清水沢3丁目27
	北海道労働金庫夕張出張所	清水沢地区	清水沢宮前町16-1
	JA夕張市本所	沼ノ沢地区	沼ノ沢213-27
金融（郵便局）	紅葉山郵便局	紅葉山地区	紅葉山81-3
	鹿ノ谷郵便局	本町・若菜地区	鹿の谷3-3
	若菜郵便局	本町・若菜地区	若菜10
	沼ノ沢郵便局	沼ノ沢地区	沼ノ沢46-1
	清水沢郵便局	清水沢地区	清水沢宮前町15
	夕張清陵郵便局	清水沢地区	清水沢清陵町62
	石狩滝ノ上簡易郵便局	楓・登川・滝ノ上地区	滝ノ上10-20
	登川郵便局	楓・登川・滝ノ上地区	登川国有地
	夕張南清水沢郵便局	清水沢地区	南清水沢4-13
	遠幌郵便局	南部地区	南部岳見町13
	南大夕張郵便局	南部地区	南部東町73
	夕張本町郵便局	本町・若菜地区	本町3-338
	夕張郵便局	本町・若菜地区	末広1-92

《表 夕張市の都市機能施設の一覧 3/3》

分類	名称	地区	住所
公園	新清水沢公園	清水沢地区	
	沼の沢公園	沼ノ沢地区	
	岳見公園	南部地区	
	宮前公園	清水沢地区	
	南清水沢中央公園	清水沢地区	
	石炭の歴史村公園	本町・若菜地区	
	本町ふれあい公園	本町・若菜地区	
	本町水郷公園	本町・若菜地区	
	丁未風致公園		—
	滝の上公園	楓・登川・滝ノ上地区	滝ノ上5番地
スーパー等	コープさっぽろ ゆうぱり店	清水沢地区	南清水沢1丁目141
	夕張あきんど屋	清水沢地区	清水沢3丁目131
	Aコープ/メロード店	紅葉山地区	紅葉山529-9
	ホームックニコット夕張店	清水沢地区	南清水沢3丁目27-1
	ビックショップかね安	本町・若菜地区	未広2丁目1-6
	吉田商店	真谷地地区	真谷地62
	竹中商店	本町・若菜地区	若菜2
	ショッピングみさわ	本町・若菜地区	若菜8-17
コンビニ	セイコーマート夕張清水沢店	清水沢地区	清水沢3丁目131-2
	セイコーマートもみじやま店	紅葉山地区	紅葉山471-1
	セイコーマート夕張南清水沢店	清水沢地区	南清水沢3丁目38-3
	セイコーマート夕張本町店	本町・若菜地区	本町6丁目1-3
	セブンイレブン夕張紅葉山店	紅葉山地区	紅葉山77

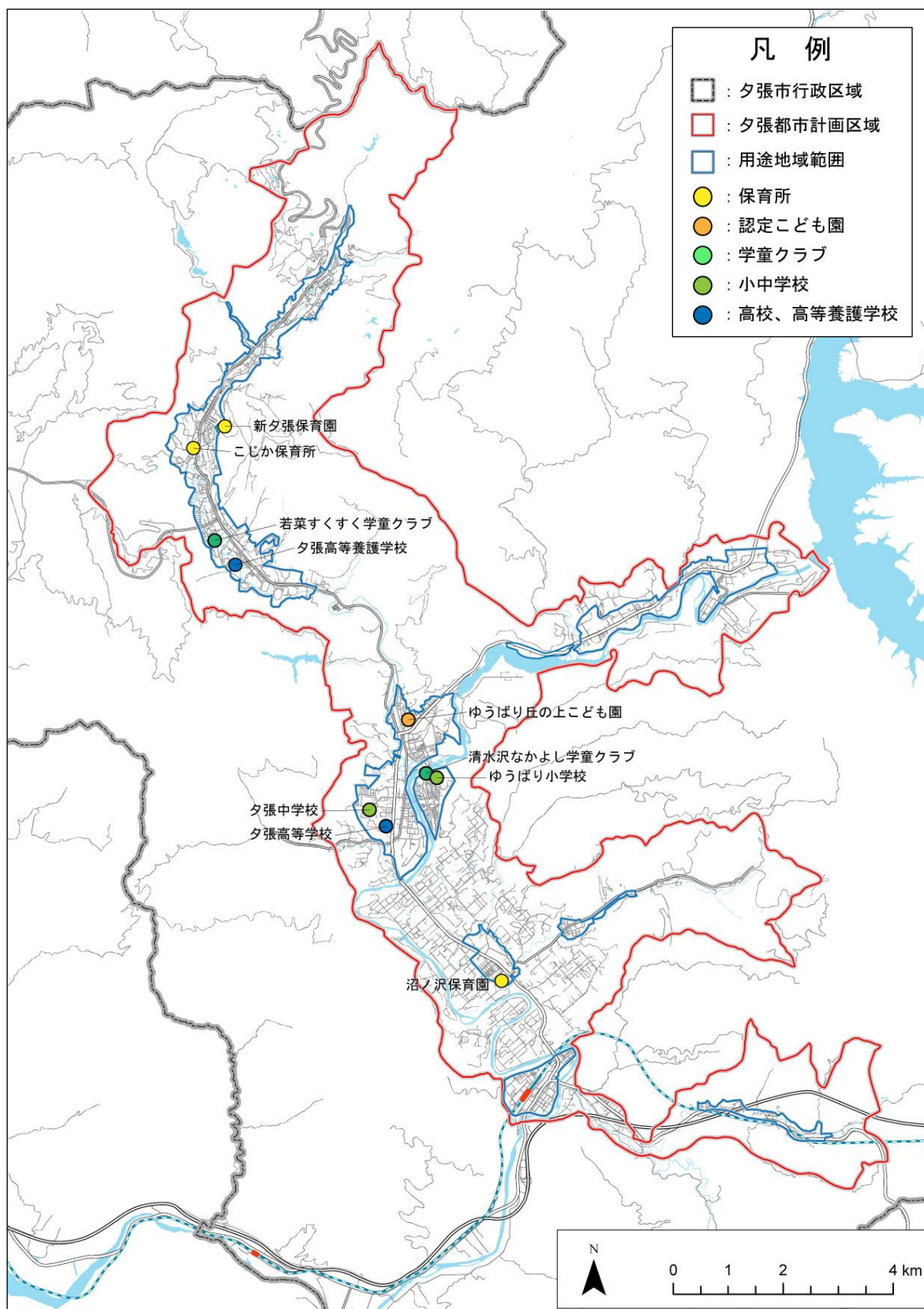
①官公庁施設

《図 官公庁施設の立地状況》



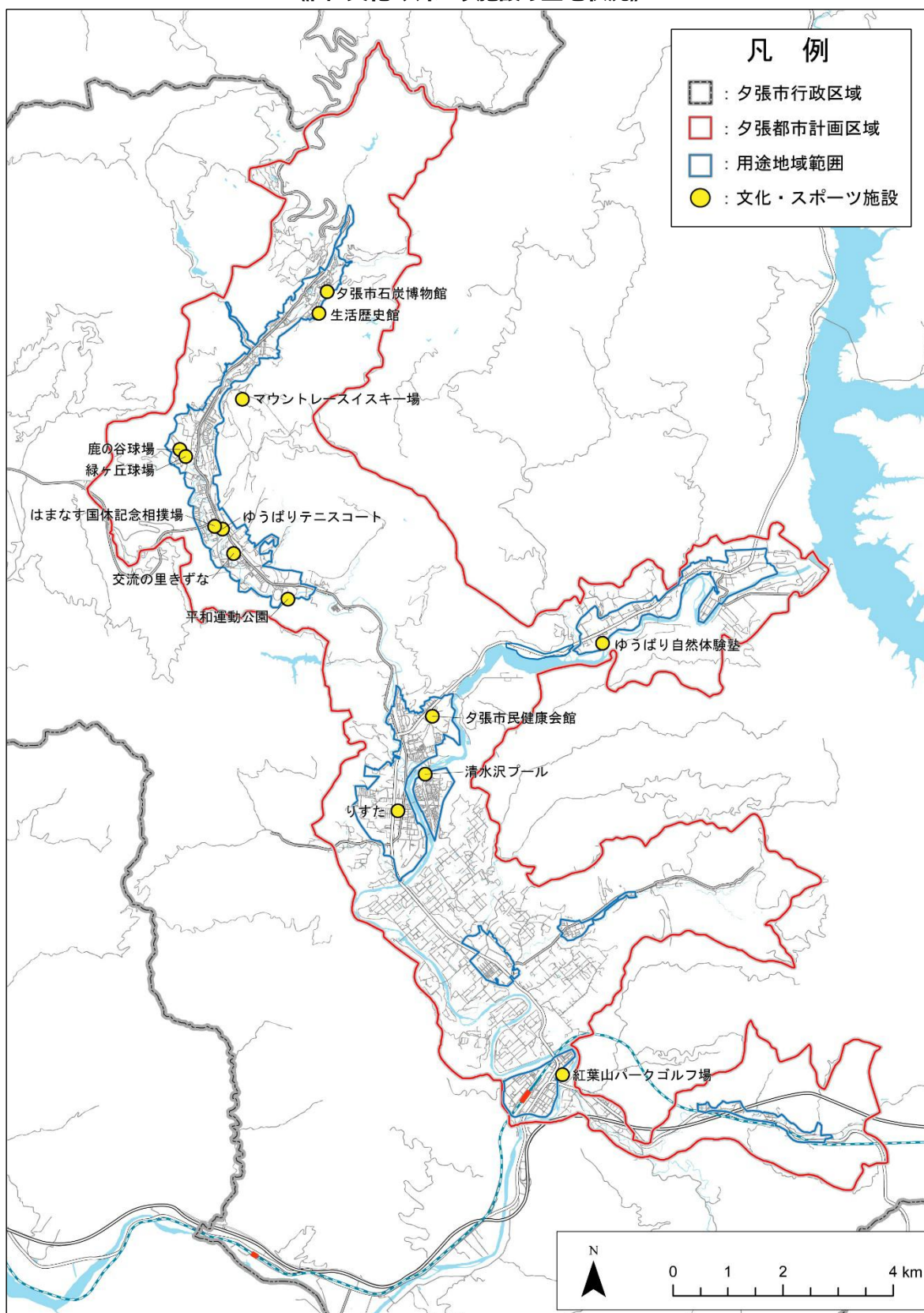
②教育関連施設

《図 教育関連施設の立地状況》



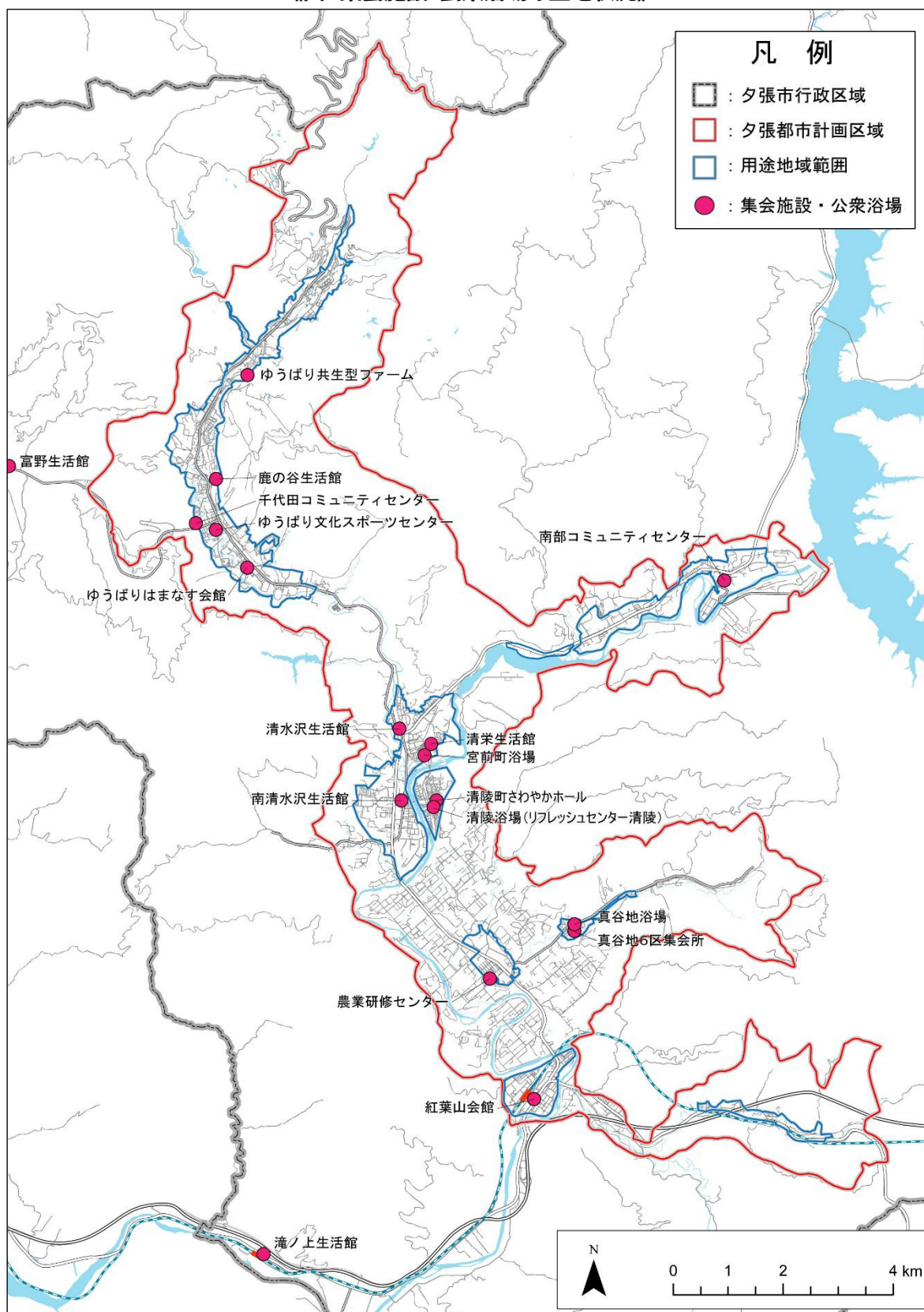
③文化・スポーツ施設

《図 文化・スポーツ施設の立地状況》



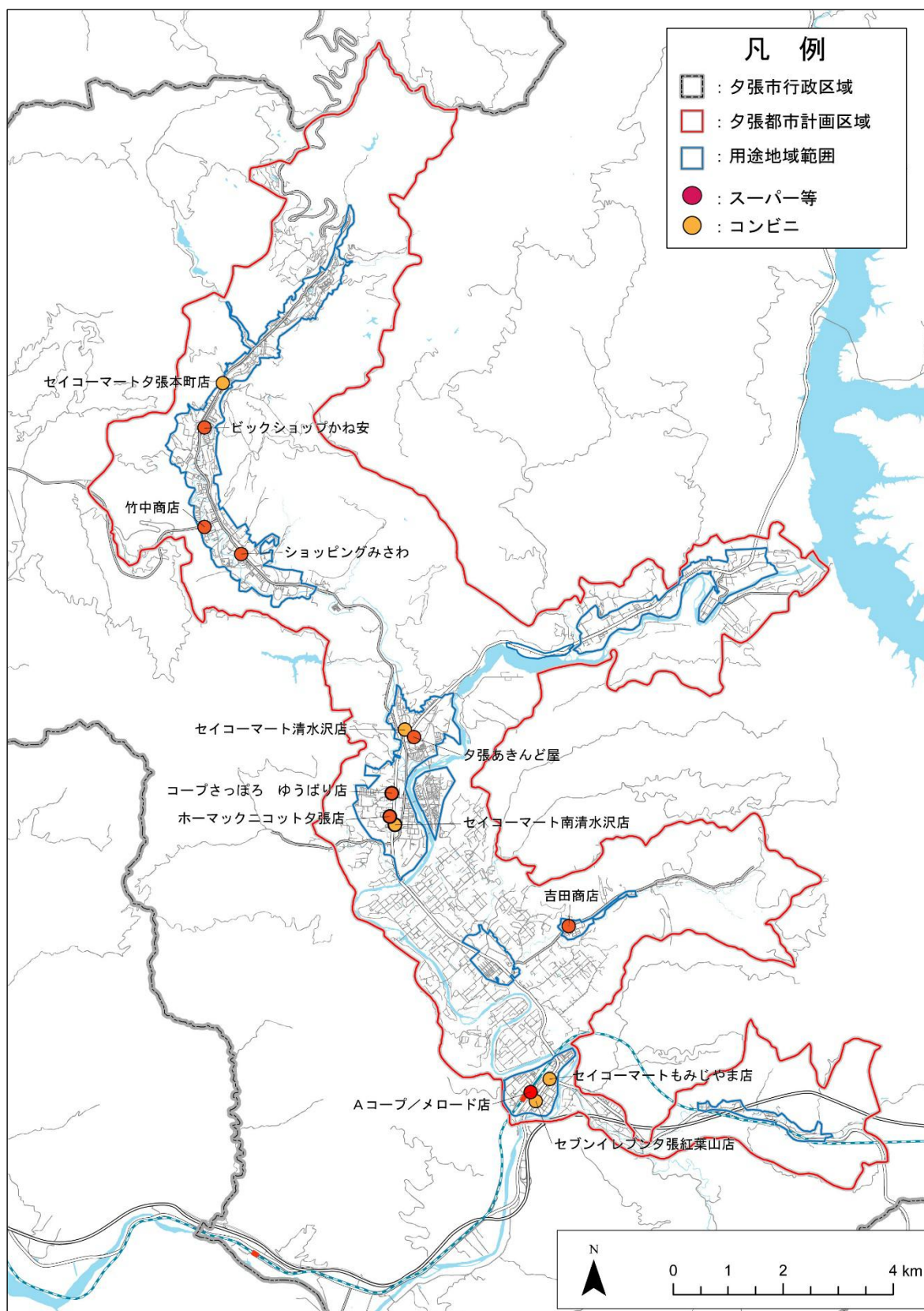
④ 集会施設・公衆浴場

《図 集会施設・公衆浴場の立地状況》



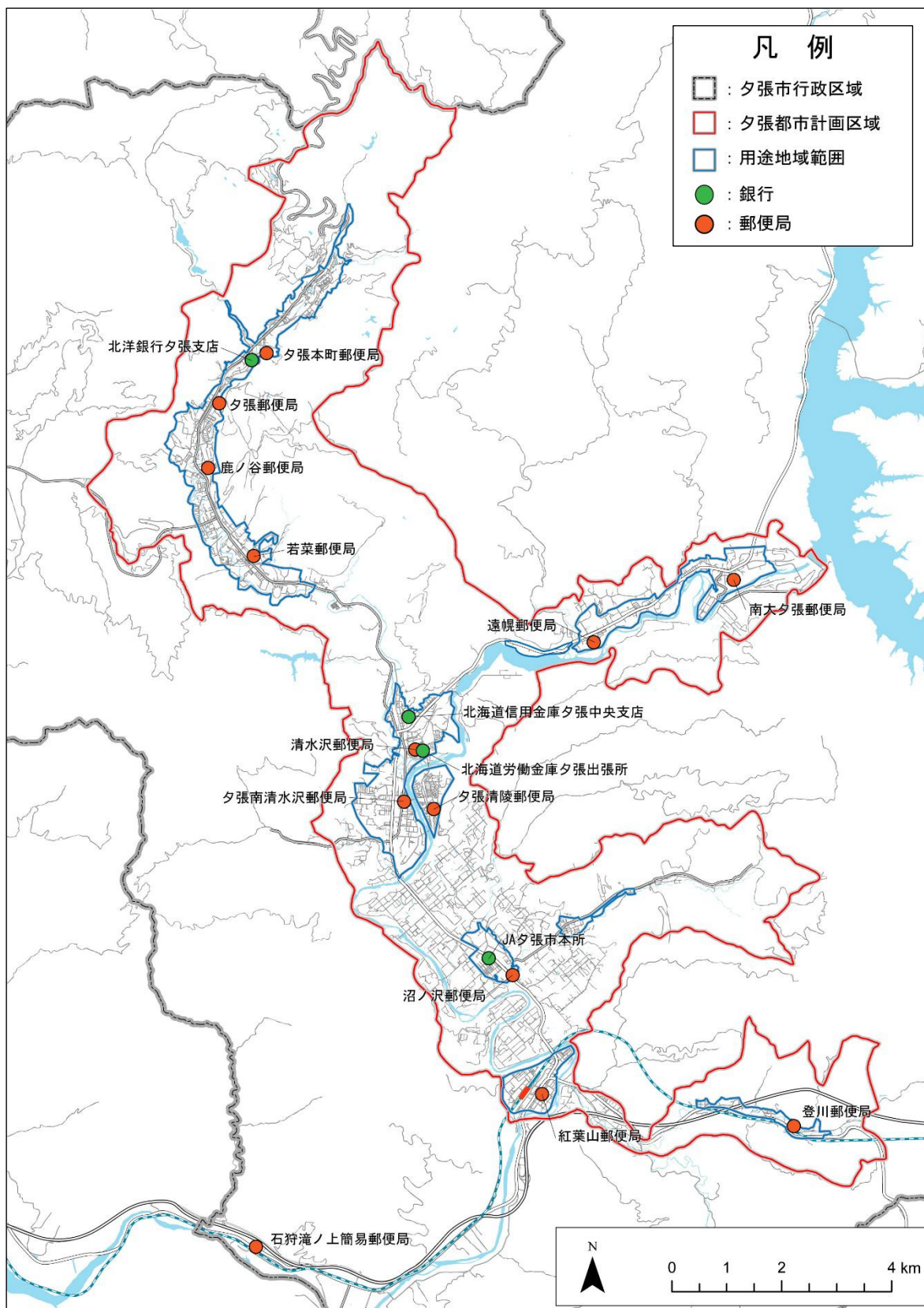
⑥ 商業施設

《図 商業施設の立地状況》



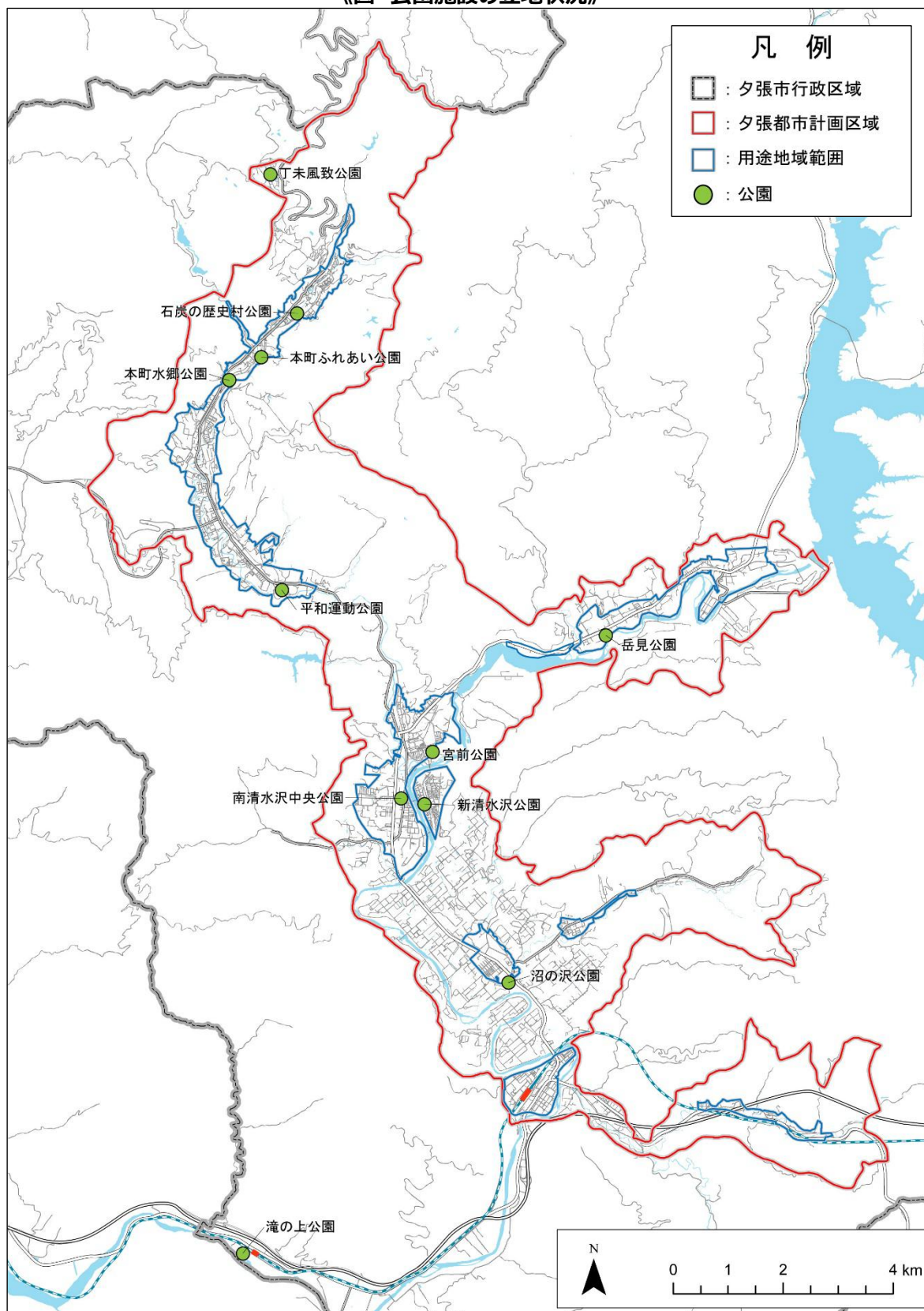
⑦金融機関、郵便局

《図 金融機関、郵便局の立地状況》



⑧公園施設

《図 公園施設の立地状況》

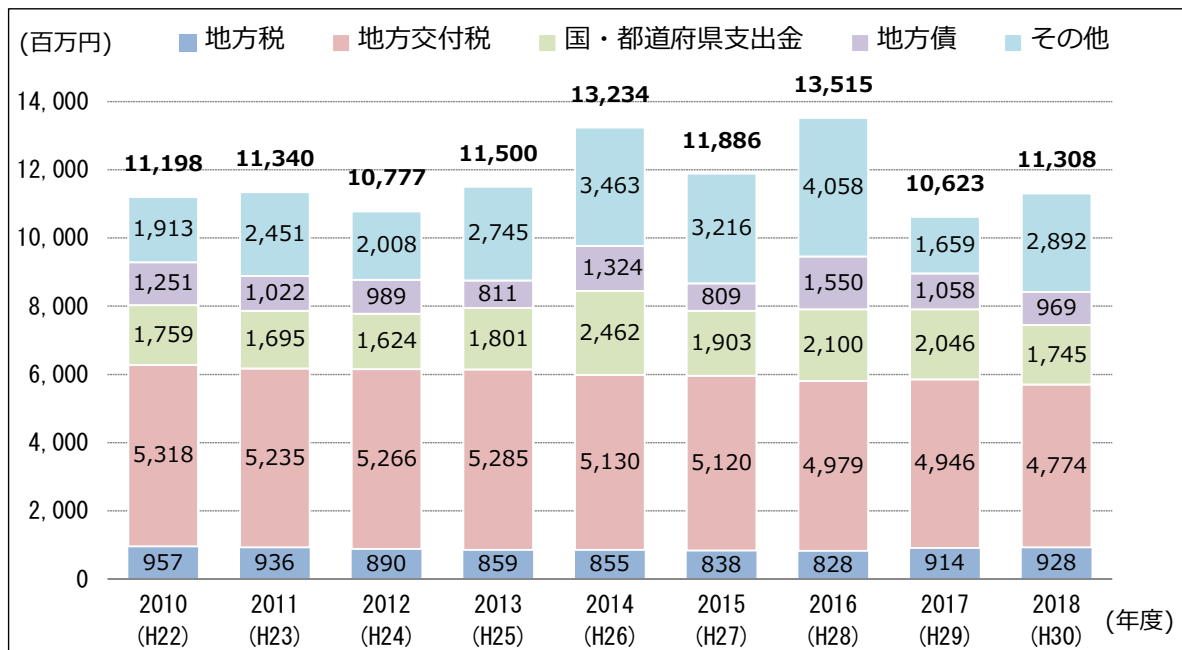


1-6 財政

①歳入・歳出の状況

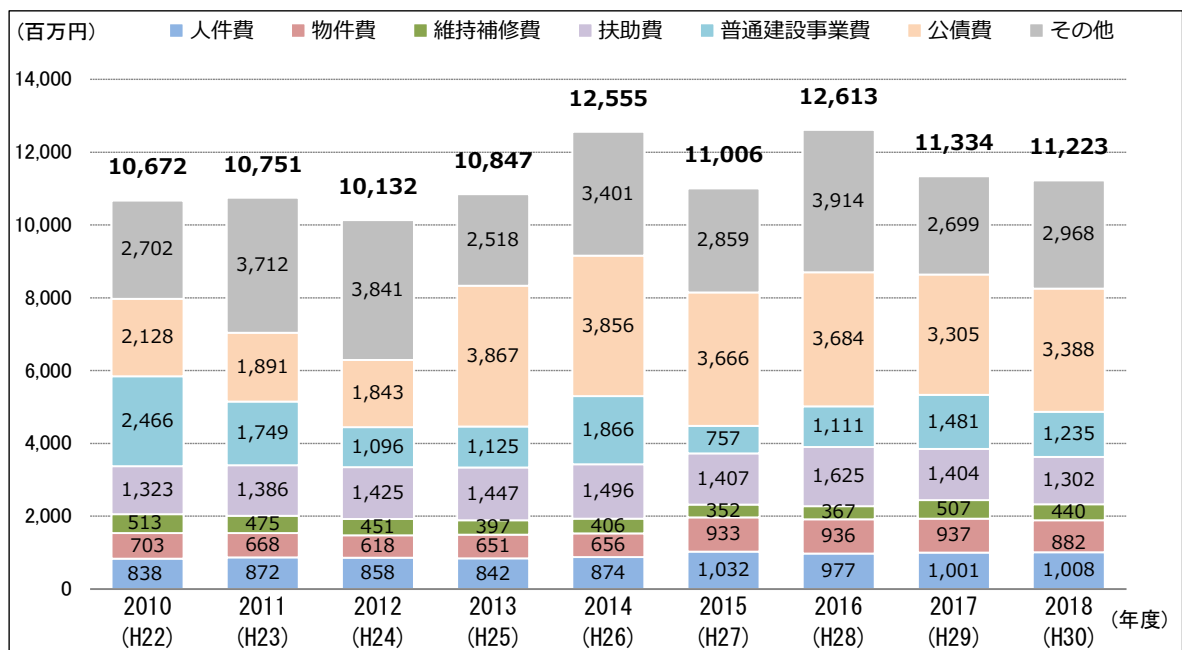
夕張市における、一般会計の歳入・歳出の推移をみると、歳入、歳出ともに横ばい傾向で推移しています。平成30年度（2018年度）の歳入総額は約113億円、歳出総額は約112億円となっています。

《図 夕張市の歳入の推移》



資料：総務省「市町村別決算状況調」

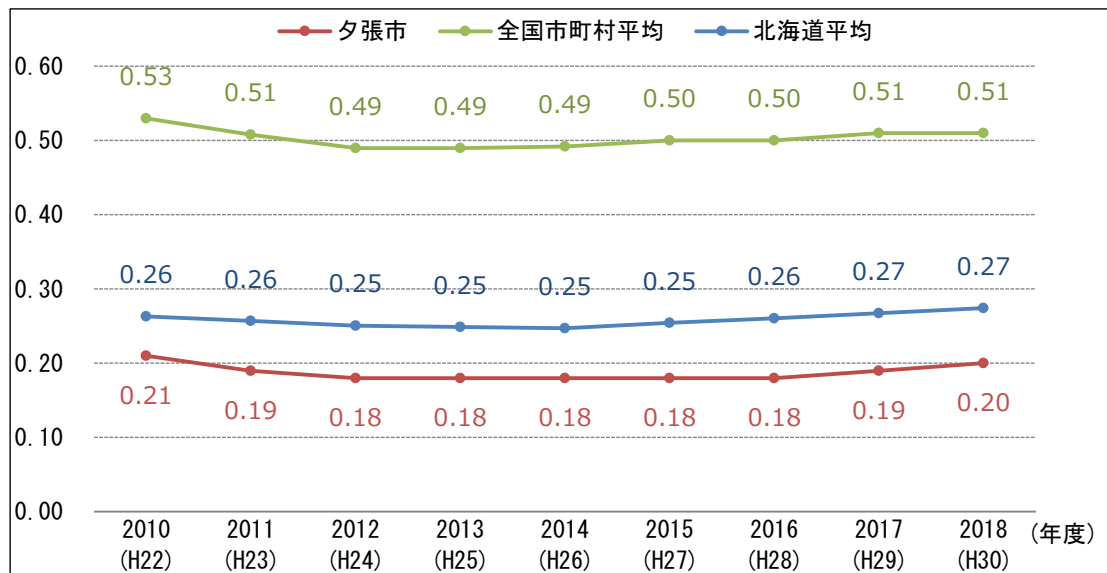
《図 夕張市の歳出の推移》



資料：総務省「市町村別決算状況調」

財政力指数の推移をみると、全国平均や北海道平均が平成 20 年度（2008 年度）から減少、平成 24 年度（2012 年度）から横ばいで推移しているのに対し、夕張市も同様の傾向で推移しています。平成 30 年度（2018 年度）の財政力指数は 0.20 と北海道平均を下回っています。

《図 財政力指数の推移》

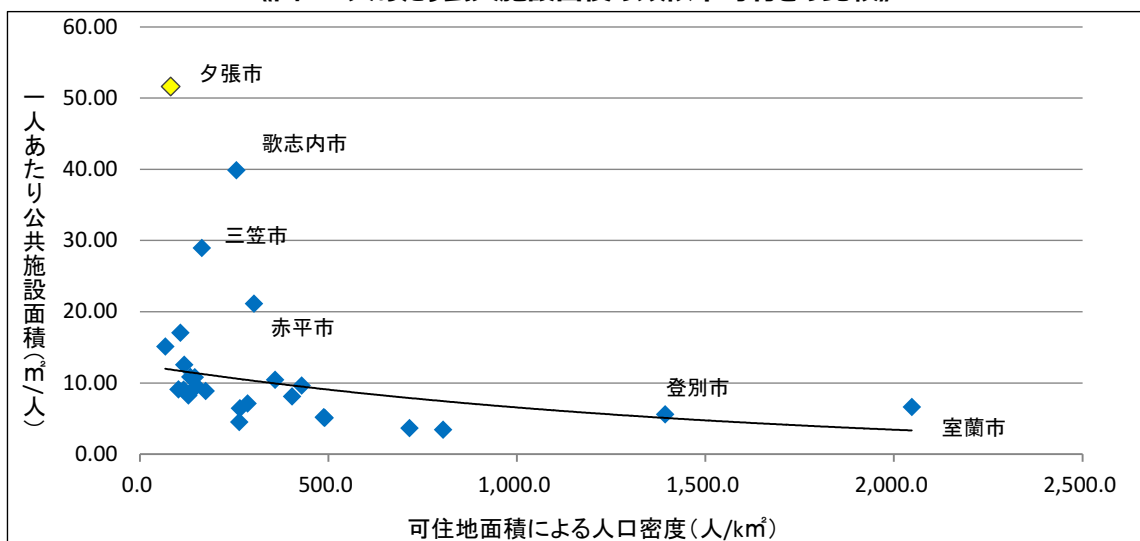


資料：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

②公共施設の保有状況

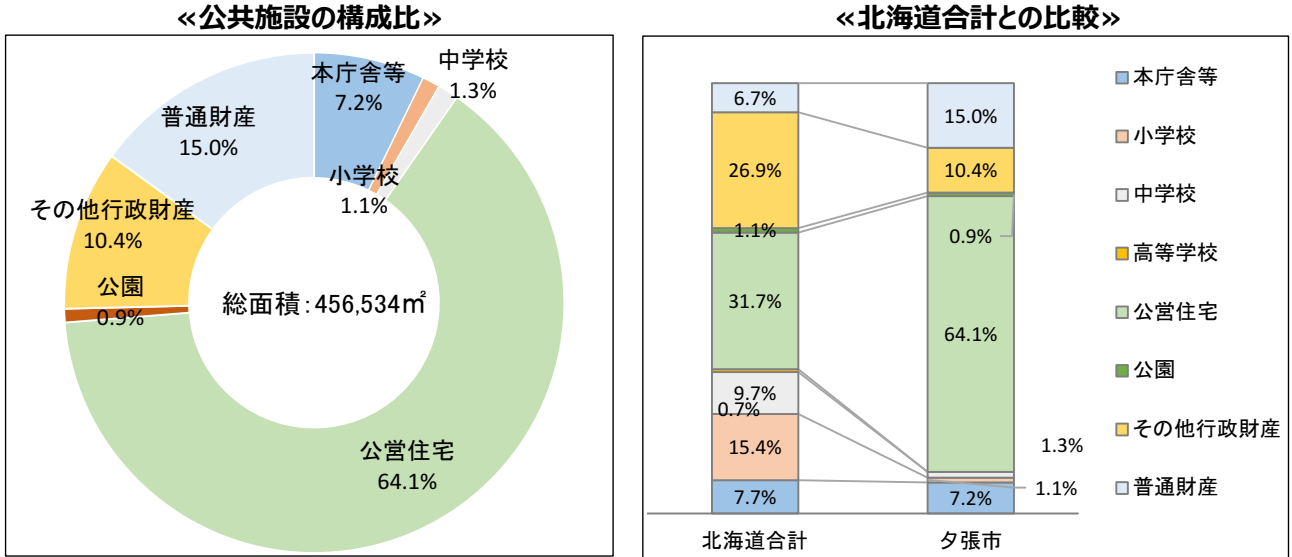
夕張市の公共施設の保有状況を見ると、公営住宅が全体の 6 割以上を占めており、北海道全体の割合（約 3 割）と比べて極めて大きくなっています。また、市民一人あたりの公共施設面積について、道内の人口 10 万人未満の市と比較すると、夕張市は 1 人当たりの公共施設面積が最も大きくなっており、今後の更なる人口減少により、市民一人当たりの維持管理の負担が増加すると予測されます。

《図 一人あたり公共施設面積の類似市町村との比較》



資料：総務省「公共施設状況調経年比較表」（平成 30 年度）

《図 夕張市の公共施設の保有状況》

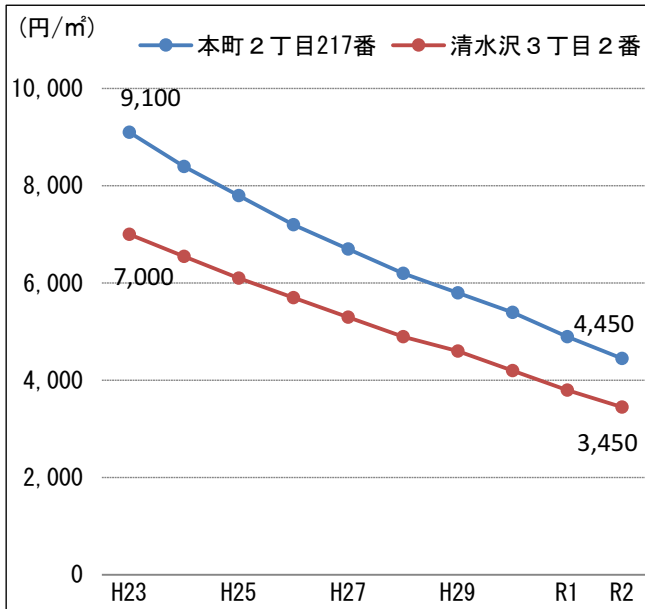


資料：総務省「公共施設状況調経年比較表」（平成30年度）

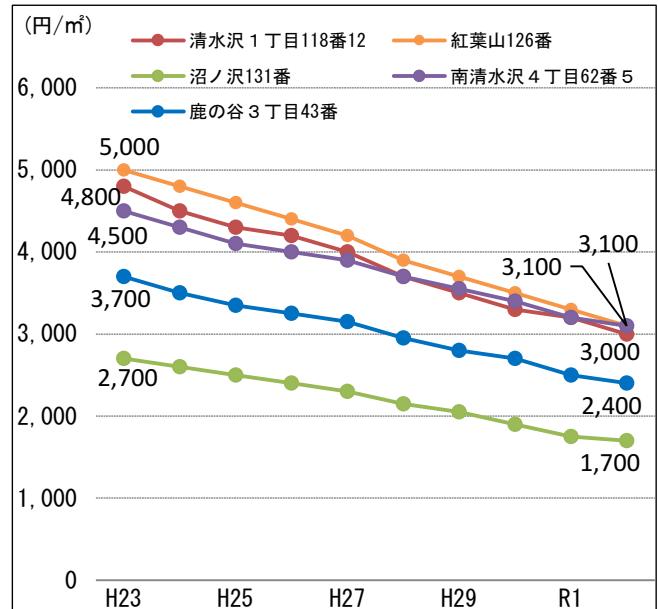
1-7 地価

平成23年（2011年）から令和2年（2020年）の北海道地価調査・地価公示の推移をみると、商業地では、本町、清水沢の両地点共に一貫して下落しており、9年間で半額以下になっています。住宅地では、商業地ほどの下落は見られないものの、いずれの地点も3～4割程度、下落しています。

《図 商業地の地価の状況》



《図 住宅地の地価の状況》



資料：国土交通省「標準値・基準値検索システム」

《図 公示地価、都道府県地価調査の調査地点》



資料：国土交通省「国土数値情報」より作成

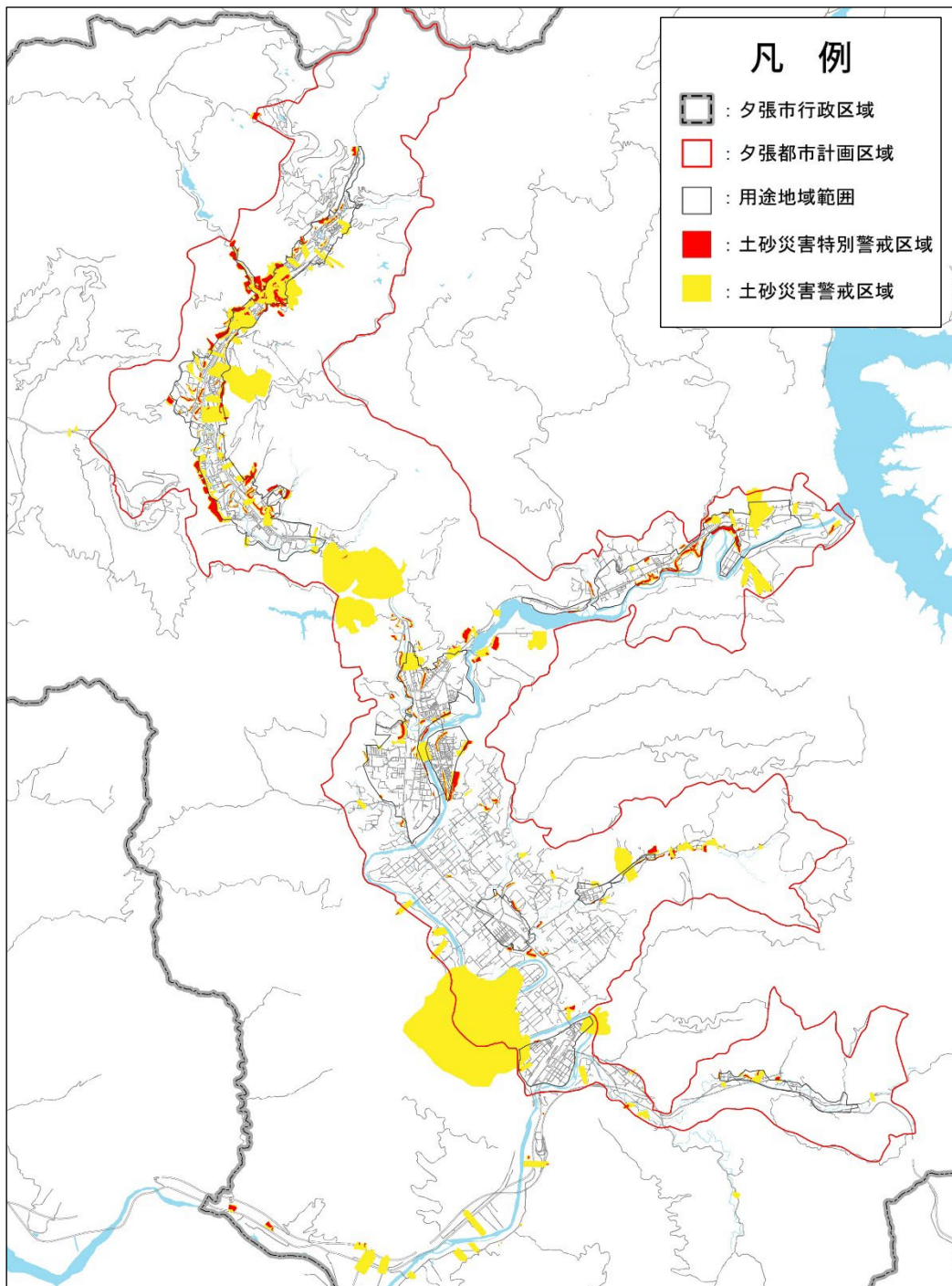
1-8 災害

①土砂災害警戒区域等

土砂災害警戒区域等は市内の各地区に指定されています。各地区の用途地域内における指定状況を見ると、本庁・若菜地区では、本町の広い範囲にわたって指定されているほか、未広から平和にかけても指定されている範囲が多くなっています。

清水沢地区では、旧清水沢駅周辺や夕張川、志幌加別川付近を中心に指定されています。沼ノ沢地区、真谷地地区、紅葉山地区、楓・登川地区では、一部が指定区域となっています。

《図 土砂災害警戒区域等の指定状況》



資料：北海道「土砂災害（特別）警戒区域等のGISデータのダウンロードサービス」を基に作成

②洪水浸水想定区域等

洪水浸水想定区域は富野地区の阿野呂川周辺が指定されています。

《図 洪水浸水想定区域の指定状況》

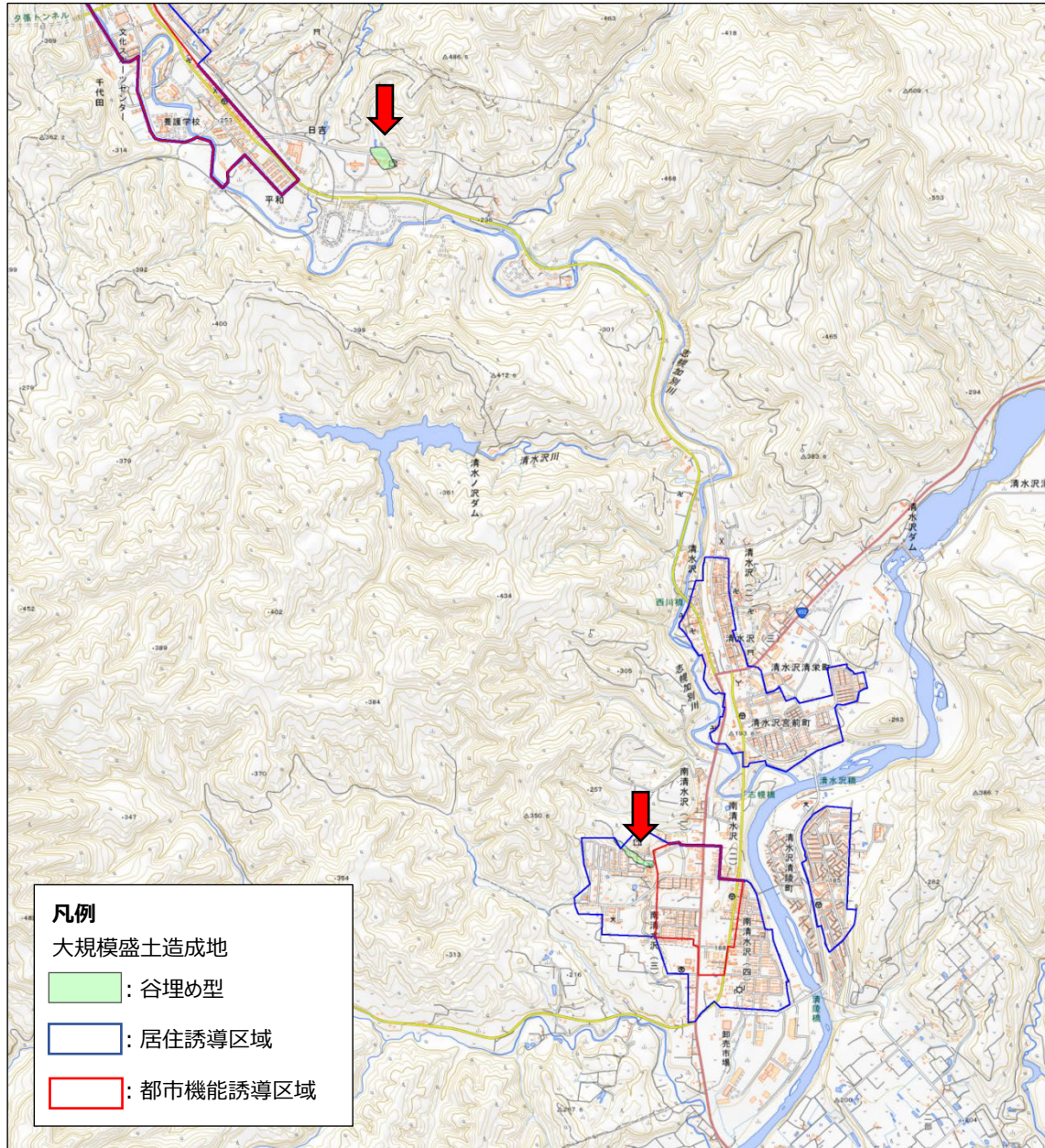


資料：「夕張市防災マップ」（平成 26 年（2014 年））を加工して使用

③大規模盛土造成地

大規模盛土造成地は、市内に日吉と南清水沢の2カ所あります。このうち、南清水沢の大規模盛土造成地の一部は、居住誘導区域に含まれています。

《図 大規模盛土造成地マップ》



資料：夕張市「大規模盛土造成地マップ」より作成

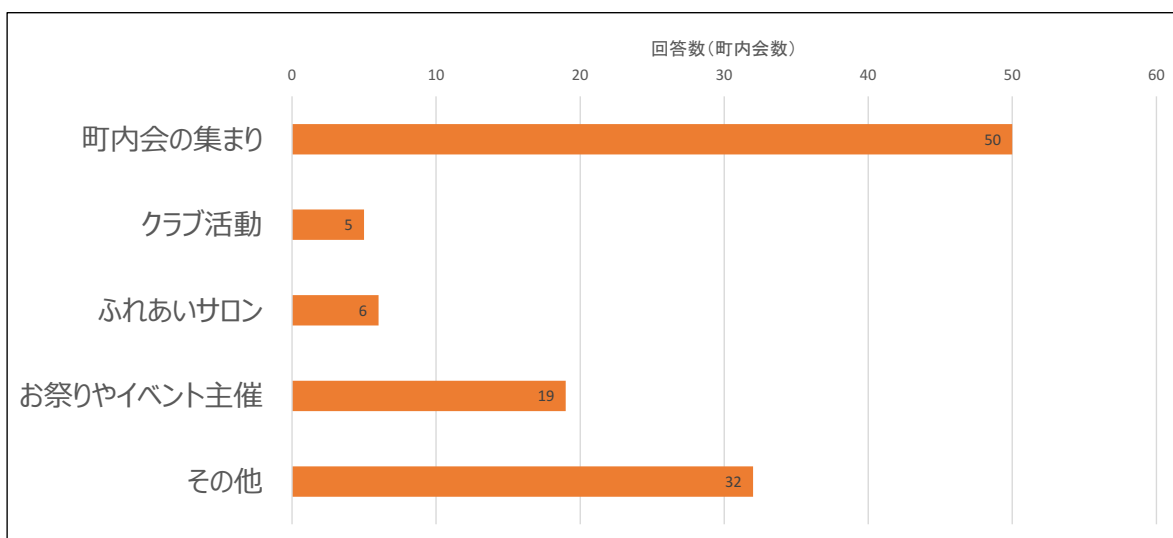
資料2 地域・地区アンケート結果

【表 アンケート概要】

対象	市内全 81 町内会
回答期間	令和2年6月
配布回収	町内会長等を通じた直接配布・回収
回収	78 町内会（回収率：96.3%）

①町内会活動の内容

《図 町内会活動の内容》

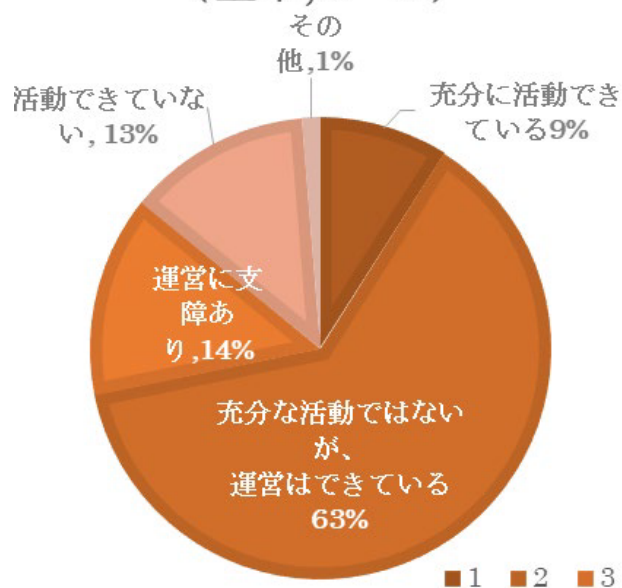


②町内会運営の現状

全市的には、町内会活動の運営が出来ている町内会は72%となり、全市の72%を切ったのは、南部と清水沢となりました。

《図 町内会運営の現状》

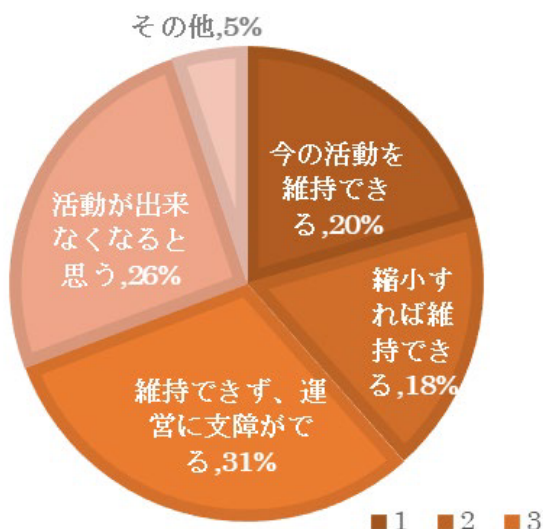
(全市, N=79)



③町内会運営の展望

全市的には、活動が将来も維持できると考えている町内会は 38%であり、全市の 38%を切ったのは、地域再編地区と若菜地区となりました。

《図 町内会運営の展望》
(全市,N=76)



④現在、町内会活動は十分にできていると思うか。

「十分に活動できている」と答えた町内会は少なくなっています。

紅葉山は全体的に活動できている町内会が多く、清水沢、若菜は「十分な活動ができていない」と答えている町内会がまんべんなく見られます。

《図 地区別の町内会運営の現状》

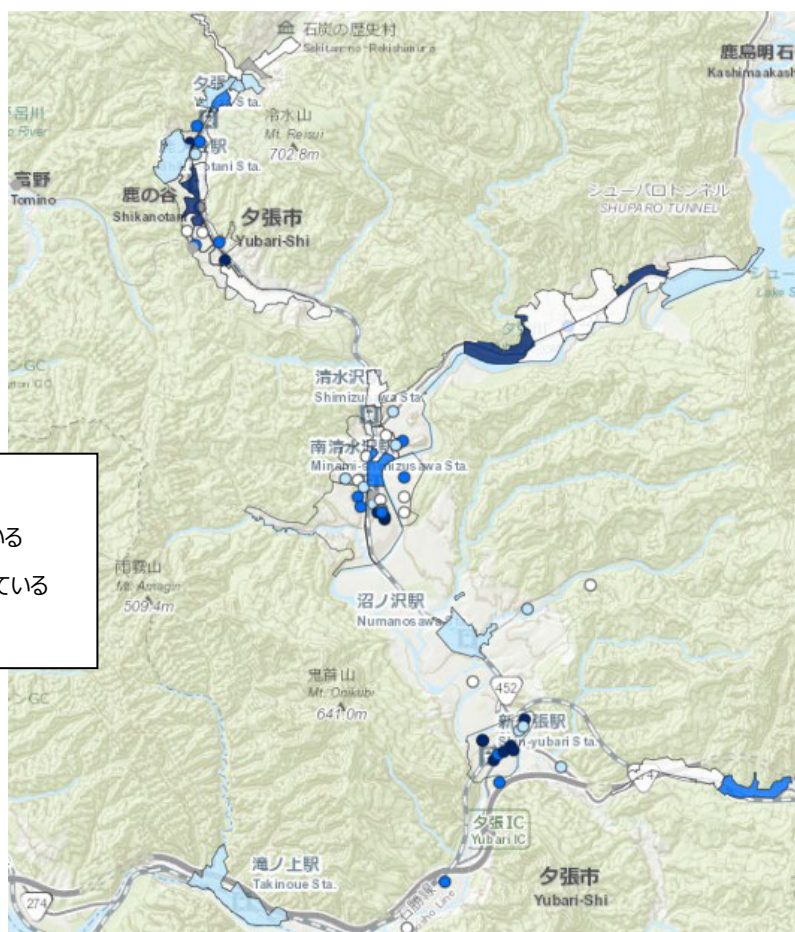
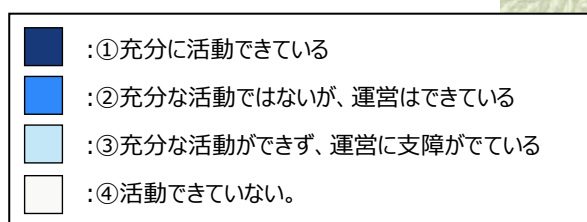


⑤将来的にも町内会活動を維持していけると思うか。

現状よりも活動に支障が出ると予想する町内会が多くなっています。

清水沢、若菜は現状と同様にまんべんなく活動に支障が出ると予測する町内会がみられます。

《図 地区別の町内会運営の展望》

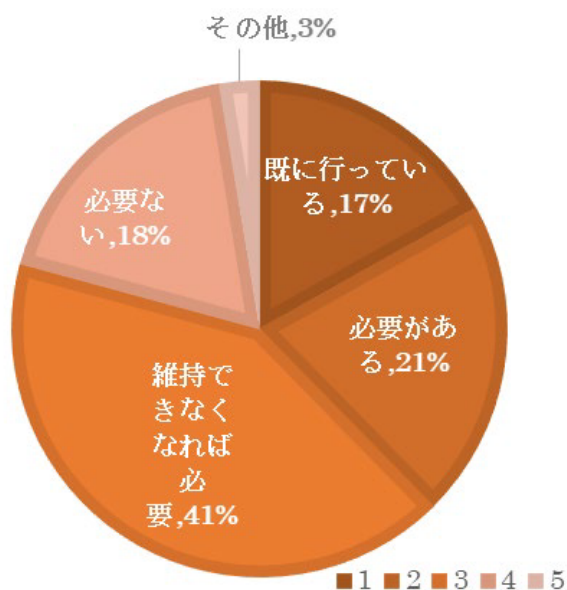


⑥町内会同士の協力

全市的には、町内会同士の協力が必要だと考えている、すでに行っている町内会は 79%となっています。全市の79%を切ったのは、紅葉山、沼ノ沢、本庁となっています。

《図 町内会同士の協力の状況》

(全市, N=75)

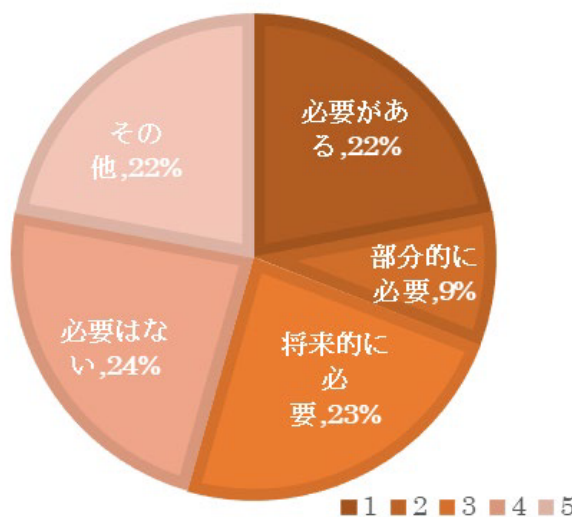


⑦地区内集約

全市的には、将来的なものも含め「集まって住む必要がある」は 54%、「集まって住む必要がない」は 23%となっています。

《図 地区内集約の意向》

(全市,N=66)

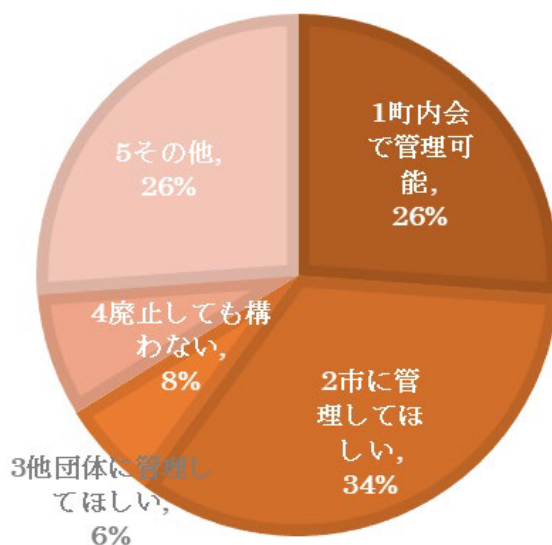


⑧集会施設の維持管理

全市的には、町内会で維持管理できている町内会は 26%、全市平均 26%を超えたのは、沼ノ沢、紅葉山で、町内会で維持管理可能と回答しています。

《図 集会施設の維持管理の意向》

(全市,N=63)



資料3 策定経過

3-1 策定委員会

年月日	内容	
令和2年(2020年) 7月7日	第1回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりマスタープラン見直し、立地適正化計画とは ● まちづくりマスタープランの見直しと立地適正化計画策定の必要性 ● 策定体制、スケジュール ● 意見交換「夕張に住み続けるための課題」 	
令和2年(2020年) 9月23日	第2回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● 前回委員会のふりかえり ● 地域・地区アンケートの結果 ● まちの将来像、将来都市構造案の検討 ● 意見交換「まちの将来像・将来都市構造について」 	
令和2年(2020年) 11月5日	第3回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● 前回委員会のふりかえり ● 誘導区域の検討 ● 将来都市構造案、都市機能誘導の方針、地域再編地区の方針、生産地区の方針の検討 ● 意見交換「誘導区域の考え方について」「地区別方針について」 	
令和2年(2020年) 12月17日	第4回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● 前回委員会のふりかえり ● 地区懇談会での意見について ● 夕張市農協青年部との意見交換結果について ● 計画素案の検討 ● 意見交換「計画素案について」 	
令和3年(2021年) 2月18日	第5回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● 前回委員会のふりかえり ● パブリックコメント結果について ● 今後のコンパクトシティ推進に向けた方策について ● 意見交換「計画の実現・推進に向けた今後の取組について」 	

《表 策定委員名簿》

区分	氏名	所属
委員長	瀬戸口 剛	北海道大学大学院工学研究院 教授
委員	豊田 英幸	夕張市農業協同組合 常務理事
委員	堤 茂樹	北海道夕張高等学校 校長
委員	石井 旭	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部地域研究部 主査
委員	高橋 道晴	北洋銀行夕張支店 支店長
委員	澤井 俊和	ゆうばり再生市民会議 代表
委員	中條 俊博	夕張市医師会 会長
特別委員	宮内 孝	北海道大学大学院工学研究院 学術研究員
アドバイザー	松村 博文	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所 副所長

3-2 市民会議

年月日	内容
令和2年(2020年) 7月28日	第1回市民会議 <ul style="list-style-type: none"> ● 夕張の将来都市像についての分析(北海道大学工学研究院都市地域デザイン学研究室) ● 夕張の将来都市像を考える「まちづくりワークショップ」 テーマ: 人口が減少するなかでの地区運営の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 夕張市の都市拠点となる地区に必要なもの ➢ 夕張市で市民が住み続ける地区に望むもの ➢ 人口が残らない地区に望むもの <ul style="list-style-type: none"> ● 全体意見交換
令和2年(2020年) 9月23日	第2回市民会議 <ul style="list-style-type: none"> ● 夕張の将来都市像についての分析(北海道大学工学研究院都市地域デザイン学研究室) ● 夕張の将来都市像を考える「まちづくりワークショップ」 テーマ: 地区の将来像について/地区で必要となる取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ➢ 集会施設再編へのご意見 ➢ 人口減少下での地区運営の在り方について(町内会・連合町内会) ➢ 空き地空き家の跡地利用について <ul style="list-style-type: none"> ● 全体意見交換



3-3 地区懇談会

	年月日	会場	内容
1	令和2年(2020年) 10月12日	夕張市役所	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりマスタープランとは ● 夕張に住み続けるための課題 ● 将来都市構造、各地区の特色と方向性 ● 意見交換 ➢ お住まいの地区の魅力や自慢 ➢ 夕張で幸せな暮らしを実現するための方法(アイデア)
2	令和2年(2020年) 10月12日	はまなす会館	
3	令和2年(2020年) 12月9日	農業研修センター	
4	令和2年(2020年) 12月9日	紅葉山会館	
5	令和2年(2020年) 12月10日	拠点複合施設「りすた」	
6	令和2年(2020年) 12月10日	拠点複合施設「りすた」	

